

東グラ

月刊 東京グラフィックス

2

2019.vol.57
no.708





Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —



ウェアラブル遠隔支援システムの運用イメージ

日ごとに厳しさを増す短納期ニーズに応える、印刷の現場。
ウェアラブル遠隔支援システムは、スマートグラス*を通して、印刷機のトラブル箇所をRMGT サービスコントロールセンターから目視して、すばやく対処します。
印刷機のダウンタイムを短縮し、トラブルに直面したオペレーターの不安を軽減します。
RMGTは、技術力と創造力で人を^{たす}援け、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、アシストしていきます。

*スマートグラスとは、カメラとディスプレイを搭載してインターネットに繋がったメガネ型のウェアラブルコンピュータ。

ウェアラブル遠隔支援システムを紹介した動画を公開しています。

右のQRコードからアクセスして、ご覧ください。

QRコードが読み取れない場合は、下記URLからアクセスしてください。

<https://youtu.be/fmF7E3NlyRw>



YouTube 動画 URL



リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社
〒726-0002 広島県府中市鵜飼町 800-2 TEL 0847-40-1600
<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>



ともに、世界へ彩りを。

東グラ 2 CONTENTS

2019.vol.57 no.708

- 04 ■特集
「ビジコン! 2018」入賞作品紹介 ②
- 08 ■2018年新春賀詞交歓会
230人が新春の宴に集う
- 12 ■東京都産業労働局(平成30年版)調査
「中小企業の賃金事情」より
- 19 ■連載: ころとときめく営業のための道しるべ②③
新しいお客様との出会いを考える
株ビジネスコミュニケーション研究所 代表取締役 田中 信一
- 20 ■連載: リスクマネジメントと個人情報保護⑤⑦
個人情報保護 緊急事態への対応
- 22 ■連載: 元CAが教える「エグゼクティブSTYLE」⑪
クレーム対応
株TFSマナー&EDUCATION 代表取締役 山本洋子
- 24 ■健康プロムナード
胃バリウム検査の注意点
医療法人社団 同友会(東京グラフィックス賛助会員) 編
- 26 ■東グラNEWS
- 28 ■東京グラフィックス青年部FACE
- 29 ■第5回理事会報告
- 30 ■ジャグラ作品展応募受付
- 31 ■東グラ・クロニクル(平成30年12月)

【おわびと訂正】

本誌1月号14P「東京グラフィックス誌上賀詞交歓会」で、東京グラフィックス千代田支部の名刺広告中、会計・長場敬太様のお名前が誤っておりました。関係各位におわび申し上げ、訂正いたします。

※「VOICE」は休みます

軽オフセット印刷・製本の スペシャリスト!

モノクロ印刷ならイナミツ印刷

- 印刷から製本まで安心の自社一貫生産ライン
- 無線綴じも針綴じも、充実した製本設備
- 小・中ロット、大量ページの印刷物に強い!
- PDF 入稿、紙版下入稿、どちらでも OK !

低価格

高品質

短納期



inamitsu
insatsu

株式会社イナミツ印刷

本社: 東京都品川区東品川 1-17-2
TEL: 03-3471-6010 FAX: 03-3471-6345

ホームページからお気軽にお問い合わせください→



プリントメディアの総合商社

SHOWA

そろそろこのマシンもガタがきてるな… 何か新しいことを始めないと… 最近の技術についていけない…
うちも本気でカラーマネージメントをやらないと…
次の基幹システムはどうしよう… そろそろ買い替え時だな…
よその会社はどうしてるんだろう…
新システムを導入しても、使いこなせてないな… **やばい！また感材がきれてる…**
また発注ミスが… お客様との連携がうまくないな… もう少し効率よくできないものか…
最近トラブル続きだな… **またクレームだ…**
何か新しい提案ができないかな… 負担をもう少し減らせないものか…



そんな悩みを

SHOWAが解決します！

機資材 + 技術サービス + システムサービス + コンサルティング

SHOWAなら…

- ★アフターフォローも万全
- ★ユーザー会で密に情報交換
- ★創業90年の実績
- ★軽快なフットワークが自慢
- ★提案型営業でしっかりサポート

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

「SHOWA会」

へのお誘い

年間の活動

- 研修会 ●工場見学会 ●総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ●有志グループ活動

①お問い合わせ、入会お申し込みは事務局まで

SHOWA会 事務局

TEL: 03-3263-6141
FAX: 03-3263-6149

一歩先ゆく

株式会社
SHOWA

〒101-0065

東京都千代田区西神田 2-7-8 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

<http://www.showa-corp.jp>

低価格!

高品質!!

短納期!!!

菊四裁4色機
菊半裁4色機

小ロット

カラー印刷

特 急 便

**経験豊富な技術力で
高品質印刷物をご提供します!!**

安心価格

価格表を明示。本格オフセット印刷で納得の低価格を実現しました。

短納期

「間に合わない」と思う前にご相談ください。ご要望に沿って尽力いたします。

**各種用紙
に対応**

薄紙から厚紙印刷まで幅広く対応いたします。

**お見積り
迅速対応**

明確なお見積り明細を迅速にご提出致します。

DTP

データの不備を可能な限り見つけてアドバイスをいたします。修正も可能な範囲で対応いたします。

**カラー
マネジメント**

カラーマネジメントシステムの確立で高品質な印刷が可能に。

**植物性インキ
使用**

通常のカラー印刷は環境に優しい植物由来のインキを使用。

**各種後加工
対応**

ニス引き印刷やPP貼、折り加工や各種製本加工に幅広く対応します。

**仕分・配送
まで一括で**

製本加工はもちろん、仕分・配送まで一括で承ります。

部数が少なくて
頼みづらい?
そんなことはありません!
小ロット大歓迎です。
お気軽にどうぞ。



ぎょく よう しゃ
株式会社 **旭洋社**

〒113-0001 東京都文京区白山 1-19-14

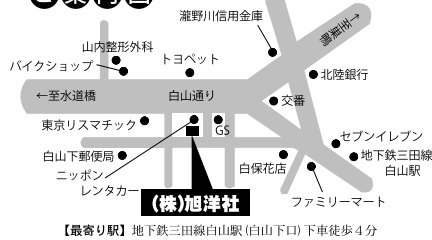
TEL: 03-3818-2311

FAX: 03-3814-2937

http://www.kyokuyo-sha.co.jp

E-mail: info@kyokuyo-sha.co.jp

ご案内図



【最寄り駅】地下鉄三田線白山駅(白山下口)下車徒歩4分





入賞作品紹介②

東京グラフィックス会長賞

東京ふるさと納税 —東京物語の発刊



武川 優

(株)緑陽社 (三多摩支部)

マンガ「東京物語」の発刊ということで考えていることは、約32,000頁で計164巻、日本の高いレベルの方々も含めた漫画家で構成された出版を考えています。かなり大きな事業ですが、実現性として私はプロデュースする自信があります。



最初にこのマンガの一コマをご覧ください。マンガは非常に表現力があるので、このセリフは恋人が言っているように思うし、この女性も年齢や置かれた立場が何となくわかります。例えば、「ベルリン」を文字で理解する場合、膨大な書物が必要になりますが、マンガは64頁であっても一つの核心を理解することもできますし、あるいは1,000頁読むのも苦ではないというところにマンガのメリットがあると思います。

事業の概要としては、この東京で起きている物語をマンガにします。それはフィクションでいいわけで、東京に因む話であれば何でもよい。その書籍を「ふるさと納税」の返礼品やインバウンド向け通販として活用します。

マンガ「東京物語」の概要ですが、内容は、東京の物語を描いた短編マンガ集で500話。作家にして450～500人。1話平均64頁として32,000頁、合計164巻。並べると約2メートルになると思います。発行部数は、作家にもよりますが、5,000～10,000部。あるいはもっと多くなるかもしれませんが、3巻セットを1単位として納品。製造原価は2,400円相当で、海外向けの翻訳本も出します。仕様はA5サイズ。普通のコミックスはB6ですから豪華感があります。並製本、フルカラーカバー、本文はスミ1色で、3巻×2セット＝6巻ごとに函に入れ、全体的にやや豪華な装幀にします。

発刊の目的としては、東京の「魅力」と「正しい姿」をマンガの力で表現します。ですから、東京の問題点が表現されていてもいいと思います。マンガには毒のある面もありますし、感性に訴える面もありますから、正しくきれいなものばかりというのとは少し違うと思うのです。

また、マンガ振興やクールジャパン振興、インバウンド拡大にも役立ってます。さらに、都民の他県への「ふるさと納税」＝「東京都の住民税減収」を緩和する一助となることも願っています。

内容の詳細ですが、テーマは多様に設定します。ただし、旅行ガイドや食レポ的な内容にはしないと考えています。テーマの例としては、人情、東京・江戸の風情なども描いていいのではないかと思います。

「今後のナイトライフの拡大」＝「誤解の拡大を防ぐ一助に」ということも考えています。諸外国に比べて東京の夜の観光は非常に貧弱だと言われており、地下鉄を24時間動かすといったナイトライフが検討されています。これは実現するだろうと思いますが、ある意味非常に危険なことです。東京の正しい姿を知らないで押し寄せてくる欧米人も大勢いるわけですから、そうした意味でもマンガによって東京の正しい姿を伝えたいと思います。

それから、小零細企業奮闘篇（下町ロケット風）、焼け跡からの復興篇（戦後）、東京芸妓物語篇、SF篇。また、有名な小説作家の原作を有名な漫画家が描画、海外の有名作家の原作を得て描画。例えば、『ハリーポッター』の著者のJ.K. ロー

リングさんに原作を書いてもらい、『ジョジョの奇妙な冒険』の荒木飛呂彦さんにマンガを描いていただくのも面白いのではないかと。また、日本びいきのハリウッド監督、例えばクエンティン・タランティーノに原作を書いてもらい、マンガにするなどです。ほかに、インバウンドの思い出（投稿）からきっちりとしたストーリーを創作します。

作家は、日本漫画家協会に協力を依頼します。できれば、全面的な協力をお願いしたい。大御所や中堅作家の割合は70%、新人を発掘は30%。要するに、非常にレベルの高い作家、例えば、ちばてつやさんにマンガを描いてもらうといったことを構想すべきではないかと思えます。ついては、しかるべき原稿料を支払う、発行部数に応じた印税も支払う、後述のカスタマイズ本に対しても印税を支払います。

流通等に関して、一つは「ふるさと納税」ということで、1万円の「納税」（寄付）に対して3巻（原価2,400円）の返礼。「ふるさと納税」は使い道を指定することができますから、「マンガ振興」あるいは「クールジャパン振興」にすることができればよいと考えています。

二つ目、インバウンド通販としては、海外現地でネットで注文してクレジット等で決済し、何かしらのパスワード等を付けた領収証を発行して、日本の空港か秋葉原等で受け取ります。書籍取得時に1万円に対して7,000円程度の商品券等を支給します。商品券の用途を限定できるのであれば、マンガ、アニメ、ゲームなどの購入にします。もちろん、東京で購入してくれることになれば、ありがたいです。

また、500話の半分の250話（＝82巻）が出たあたりで、購入者のカスタマイズ本の製作に応じます。1話ごとに自由に選択し、3話で1冊の本とします。例えば、2巻目のちばさんの64頁と18巻目の荒木さんの64頁、51巻目の田中さんの64頁分、合計192頁で自分の好きな本を作るということです。これを、オンデマンドでプリントします。この場合、製作費が高くなるので、2巻で1セット＝1万円ぐらいかと思えます。このカスタマイズでチョイスされた作家の方々、いわゆる人気投票ですから、その印税も支払います。それにより作家のモチベーションも高めることになると思います。

収入は、初版3巻1万円（製造原価2,400円）55セットが5,000部発行で約28億円、10,000部発行で約56億円です。再販は未定ですが、カスタマイズ本がブレイクする可能性はかなりあるのではないかと思います。

将来の展望としては、優れた作品は長編として継続発行してもよいと思います。「東京」には幅広いテーマがあるので、



とりあえずは「マンガ」での表現と考えていますが、この構想とは違う形、いろいろな展開が考えられるのではないかと思います。

「マンガふるさと偉人伝」を発行している自治体もありますが、東京都がマンガ「東京物語」を発行すること、発行し続けることは、優れた広報活動・産業振興策であると思います。東京都をきちんと伝えなければいけないインバウンドの時代に向けて、こうした必要性があるのではないかと思います。

マンガ「東京物語」の概要

●内容：東京の物語を描いた短編マンガ集500話

●1話平均：64頁（32頁の倍数）

※64頁×500話＝32,000頁

●1巻：200頁 合計164巻

●発行部数：5,000部～10,000部

●3巻セットを1単位として納品（2,400円相当）

※2,400円は通常のコミックスの倍の値段

●海外向けのものは翻訳する（言語数の限界有）

●収入：3巻1万円×55セット×5,000部＝28億

〃 ×10,000部＝56億

※上記の他にカスタマイズ本の収入がある

※製造原価2,400円

【高橋先生コメント】

「ふるさと納税」の仕組みを活かすという発想はとてもいいと思いました。「ふるさと納税」は儲かるまで一つの商品に寄付を集中させるのはなかなか大変で、他の流通での販売のサブ的な使い方でないといけないのが現時点では定説となっていますが、もしかしたら大ブレイクできるかもしれません。

マンガは競合も多く制作コストも高いので、全国各地のコレクション性がある読み物や、住んでいる人や土地にまつわるコンテンツで別の企画をしてみてもいいかもしれません。

【伊豫田先生コメント】

「ふるさと納税」をビジネスにするというのは、いろいろな話題を振りまいていますが、多くの自治体でナショナルブランドの商品を返礼にするなど、まだまだこの世界はコンテンツ不足の感が否めません。

このアイデアは、販売部数やコストの評価から、収益モデルまで網羅しており、経営者ならではの視点で纏められ、現実的なビジネスをイメージできることを評価しています。

気になるのは、返礼率の引き下げによるブームが去る懸念ですが、そこは「本物だけ」に追い風が吹くチャンスとポジティブに捉え、コンテンツの磨き上げに注力することで乗り越えてください。「納税に選択の余地がある」＝「高所得者の世界」なので、「価値あるもの」には、引き続き魅力あるマーケットといえるでしょう。

挙げられたテーマも多彩でどれも魅力を感じます。零細企業の奮闘編などは、朝ドラで近代の企業経営者の話が高い視聴率を得るなど、ご当地人物には、今後の優良コンテンツとして期待ができます。

資金調達の面でも、「ふるさと納税」をクラウドファンディング風に、集めた金額でページ数を増やすなど楽しめる仕組みを入れることで話題性も創ることができるでしょう。

まだまだ展開の余地があり、事業化が期待できる楽しいビジネスアイデアです。

東京グラフィックス会長賞

アゲモノ屋台

！
後藤 裕太

(株)三進社 (港支部)

自宅で揚げ物は大変です。油をたくさん使うし、気軽にできる料理ではないと思います。何が難しいかと言えば、カラッと揚げるのが難しい。母の作った天ぷらは、しっとりしていて、違う料理ではないかと思うくらいです。工夫して、



カラッと揚がったりすることもあるのですが、手間がかかってなかなか大変です。

また、油がもったいないし、処理が大変です。新聞で油を吸わせたりなど、油を捨てるのも大変です。かつて母は、廃油凝固剤で失敗して火事を起こしかけました。私は隣の部屋で寝ていて、気づいたからよかったのですが、もしそのまま熟睡していたら、私は今ここにいなかったと思います。

それから、使った油を再利用する方もいらっしゃると思いますが、古い油は酸化したり、トランス脂肪酸とか体によくないと言われています。ただ、どのくらいで悪くなるかを判断するのは、なかなか難しいと思います。私は学生時代、バイトでマンガ喫茶で揚げ物を揚げる係だったのですが、1週間に1回しか油を替えなかったのも、油を替える前の揚げ物は、食べると胸やけがひどくて大変でした。

そういうふうに、揚げ物は大変だなと感じていたときに思い出したのが、けらえいこ先生が描かれた『あたしんち』というマンガです。アニメ化や映画化もされているので、ご存知の方も多いと思います。

その11巻目にこういうシーンがあります。

お母さんが娘に「7月30日に『街のアゲモノ屋さん』オープンだって」「へえ…少しはウチにもカンケーあるかな?」「…でも何だろうねアゲモノ屋って……フライとかぱっかり売っている店…?」「街のアゲモノを一手にひきうけてくれる店だといね!! 近所の主婦がそれぞれ揚げてほしいものをもっていきとき、その場で揚げてくれるの。油はお菓子用とフライ用と天ぷら用に分かれていて、プロの揚げ師が1個から揚げてくれるので。はやるね〜これは!! 家でアゲモノするの大変だもん……」「そーかな…そんな店かなア…?」

マンガは、普通のお惣菜屋さんできて、お母さんががっかりする、というオチで終わるのですが、当時、これを読ん

だとき、「こんなお店がほしい!」と思いました。

そんなことを思い出しているときに、自宅の前にパンの販売車がやってきて、パンを売っていました。それを見たときに、これを融合できるのではないかと思ったのです。

そこで思いついたのが、『アゲモノ屋台』です。屋台は、車バージョンと手押し車バージョンがあってもいいと思います。毎週金曜日、夕飯時にアゲモノ屋台がやってくるわけです。金曜日は“フライデー”ということで「アゲモノの日」を定着させようと思います。音楽はアゲアゲな曲。うちの近くまで来て、揚げ物を揚げてくれる。夕飯用だけではなく、子供の土日のおやつのドーナツなども揚げてくれたりして、けっこういい屋台なのではないかと思うのです。

メリットもいっぱいあります。油は新鮮なので、健康に良いということ。プロが揚げるので、カラッと美味しく揚がります。油の処理を考えなくてもよいし、自宅が火事になる心配もありません。

これがうまく行けば、来年の春には実現するのではないかと思います。なぜかという、昔から言いますね、「春はあけもの」——。おあとがよろしいようで。

うちの近くに来て、揚げ物を揚げてくれる。



メリットいっぱい。

- ・油は新鮮、健康に良い。
- ・カラッと美味しく揚がる。
- ・油の処理を考えなくても良い。
- ・火事の心配もない。



【高橋先生コメント】

油の処理も大変だし、意外と油高いし、油をシェアリングするという発想はステキです。あとは儲かるかどうかと、購入者が意外と面倒な思いをしないかどうか。食材を買って持っていくより、もう天ぷらやフライをそこで揚げたてで売ってくれた方が嬉しいかもしれません。

料理のシェアという大きな視点で、他のことができないか、考えられないでしょうか。あるいは面倒な家事のシェアとか。この発想は、もっともっと大きくいろいろなことが考えられると思うのでぜひぜひ考え続けて実現して欲しいです!

【伊豫田先生コメント】

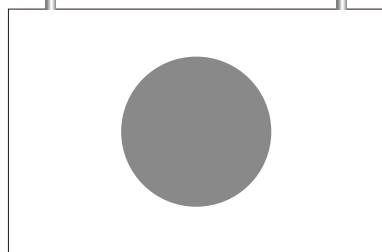
消費者目線でビジネスを考えることは、収益性の高いビジネスモデルをつくる際の王道です。主婦の苦手や面倒にフォーカスしたこのアイデアは、誰の目にも見えるメリットがあるため消費者に受け入れられやすく、早期に収益を見込むことができる点で優れたプランです。安い天井チェーンの拡大で街のおいしい天ぷら店が閉店に追い込まれています。でも手軽に自宅で美味しい天ぷらが食べられることは、料理人の活躍の場や消費者の食生活に選択肢が増えることとなり、一定のニーズを生み出すことでしょう。

反面、誰にでも分かりやすいビジネスモデルなので、容易に他社参入を招く難点があります。成功するために「秘伝の天つゆ」や「井タレ」などの他社と差別化する商材やサービスを考えてください。

また、出店する立地の例として、やきとり屋のいる「スーパーの脇」や採れたての野菜や海産物がそろう「道の駅」などは一定の集客があり、相手の店舗との相乗効果が期待できます。これらの企業とコラボするイートインのスタイルもありだと思います。プランの実現を進める際には、衛生管理についてチェックしてみてください。持ち込み食材の場合、保健所の扱いが気になるところです。

(本文文責は編集部)





2019年 新春賀詞交歓会

230人が新春の宴に集う



「ビジコン！2018」都知事賞ほかを表彰

東京グラフィックス（菅野潔会長）は1月21日（月）午後6時から、台東区池乃端の東天紅において2019年新春賀詞交歓会を開催した。参加者は来賓合わせ230人。昨年は大雪に見舞われたが、今年の新年会は朝から快晴で恙なくスタートした。

冒頭、あいさつに立った菅野会長は東京グラフィックスの諸事業について触れた。団体課題別人材力支援事業では東京グラフィックスフェスタ開催をはじめ、多彩なプログラムに取り組み、会員企業発展の原動力になることが期待されると述べた。さらに今後、BCP・CSRに加え、CSV・SDGsへの

取り組みが重要になってくるとの見通しを示した。

続いて小池百合子東京都知事のメッセージが代読され、来賓の日本グラフィックサービス工業会・中村耀会長と日本印刷産業連合会・杉村玄一郎専務理事から祝辞があった。

その後「ビジコン！2018」（東京グラフィックス・ビジネスアイデアコンテスト）の表彰式が挙行された。昨年9月から1.印刷・紙関連（業界内での困りごと解決やコラボレーションによる新事業アイデア）と2.一般ビジネスアイデア（印刷・紙にとらわれない、広く自由なビジネスアイデア）の2つのテーマで募集を開始し、今回は62点の応募があった。専門家・有識者による採点に加え、東京グラフィックスフェスタの会場において来場者による投票を実施し、10点が入選した。11月12日に入選9アイデア（一人プレゼン辞退）によるファイナルプレゼン大会が開催され、審査員による合議で各賞を決定した。

最優秀賞の東京都知事賞は齋藤秀勝氏（㈱文化ビジネスサービス）が、優秀賞の東京都産業労働局長賞は坂井智子氏（㈱研美社）が受賞し、東京都産業労働局商工部の川崎秀和課長から表彰状が授与された。同じく優秀賞の審査委員長賞は大塚宜輝氏（㈱東京商会）が受賞し、高橋晋平審査委員長



主催者あいさつをする菅野会長



来賓のジャグラ中村会長



東京都知事賞を受ける齋藤氏（右）

から表彰状が授与された。東京グラフィックス会長賞は武川優氏（株緑陽社）、後藤裕太氏（株イナミツ印刷）の二人が受賞し、菅野会長から表彰状が授与された。

続いて新入会員の紹介を行った。2018年は10社の入会があり、この日は9社10名が参加、新しい仲間を歓迎した。

よいしょの掛け声で鏡開きをおこない、日本印刷機材協会・幅和弘会長の発声で乾杯、懇親に移った。

青年部 FACE が加盟している都内印刷団体青年部の集まりである印刷産業青年連絡協議会（原田大輔会長）で発案された「印刷体操」がFACE メンバーを中心に披露され、紹介VTRと共にオリジナル体操をした。同体操は、印刷会社の一一般的な工程に沿った動作を取り入れているのが大きな特徴。

アトラクションはチアダンスユニット Lifty による、7人編成でのチアリーディングステージが披露された。人気が高く、来場者からアンコールも起きた。

なごやかな歓談の後、名残惜しくも笹岡副会長の中締めで今年の飛躍を祈念して、新春賀詞交歓会は散会した。



2018年新入会員のみなさん



よいしょの掛け声で鏡開き



乾杯の発声は日印機協・幅会長



アトラクションのチアダンス



「ビジコン！2018」入賞者のみなさん



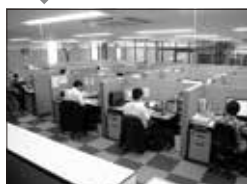
「印刷体操」の披露

Hcomの ワンストップサービス

学術書組版からスタートしたハイコムは、その技術を生かし
現在、編集・DTPから印刷・製本・配送の
流通までを一貫して受注できる体制を整えています。



企画・編集



DTP



CTP



POD



LED-UV 印刷



PP 加工



製本



仕分・梱包



流通

美しい
確かな
本造り



第17回

印刷産業環境優良工場表彰
「日本印刷産業連合会会長賞」受賞

Hcom

美しい文字の故郷

www.hcom.co.jp

Hcom

ご相談窓口：03-3235-4441

日本ハイコム株式会社

〒112-0014 文京区関口 1-19-2

TEL：03-3235-4441 FAX：03-5261-7070

本社

〒399-0651 長野県塩尻市大字北小野 4724

TEL：0263-56-2111 FAX：0263-56-2424



責任ある森林管理
のマーク



16190212



No.E1776-ISO14001



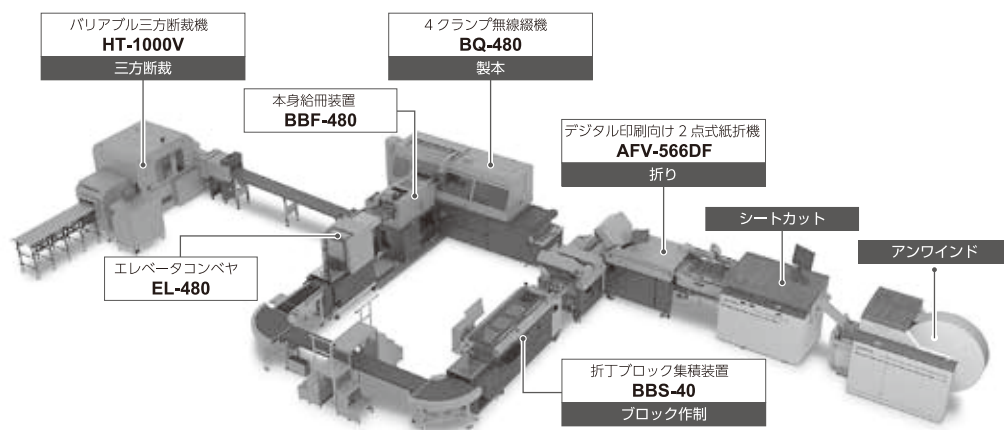
CM002

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか



Smart Binding System デジタル印刷向け書籍製本システム

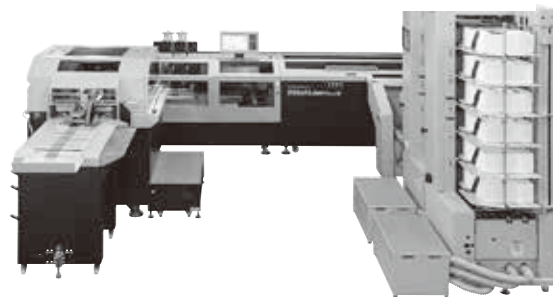
ロール紙対応で、仕上がりサイズに合わせた効率的な面付けを可能とする中小ロット向け製本システムです。



ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム

StitchLiner MarkⅢ

厚みの異なる冊子に応じて各部を自動で調整、作業を中断することなく安定した高品質な製本を実現。A4S綴じ冊子は最高6,000冊/時間、A4E綴じ冊子は最高5,300冊/時間で処理することが可能です。(製本速度は紙質や紙の厚さによって異なります。)



四六判半裁全自動紙折機+横型プレススタッカー AFC-566FKT+PST-44

大型カラータッチパネルを搭載し、用紙を1枚挟むだけで、全ての設定を数秒で行います。便利なワイヤレスリモコンを標準装備し、操作パネルから離れている場所でも操作できます。



自動無線綴機4クランプタイプ BQ-480

セット替えの高速化による、小ロット、パリアブル製本での高生産性を実現。1冊ずつ厚みの異なるパリアブル製本を最高で時間800冊で処理することが可能です。



PUR
対応

全油圧断裁機 APC-610

幅61cm、厚さ10cmまで一度に断裁でき、プレッシャとともに、カッティングも油圧式で強力です。



www.horizon.co.jp

株式会社 東テク

〔本社〕
〒132-8562 東京都江戸川区松江5-10-9
TEL. 03(3652)7631(代) FAX. 03(3652)8083

〔東北営業所〕
〒984-0002 仙台市若林区卸町東1-7-31
TEL. 022(782)2821(代) FAX. 022(782)3068

〔システムデザイン営業部〕

〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL. 03(3863)5361(代) FAX. 03(3863)5360

株式会社 西コンサル

〔本社〕
〒601-8206 京都市南区久世大薮町510
TEL. 075(933)3060(代) FAX. 075(933)4025

〔九州営業所〕
〒813-0034 福岡市東区多の津4-12-17
TEL. 092(626)8111(代) FAX. 092(626)8112

「中小企業の賃金事情」より

給 料

東京都産業労働局の平成30年版「中小企業の賃金事情」がこのほどまとまった。本調査は、都内3,500社に調査票を郵送し、回答のあった1,060社分（その内、製造業は従業者数30～299人の297社）について集計したもの。回答企業の平均従業者数（非正社員含む）は49.1人（製造業平均は38.6人）であり、さらに回答企業は概ね業績好調であることが予想される。従って、必ずしも小規模・中小事業所の現状の「賃金事情」を正確に表しているとはいえない部分もあると思われるが、参考として抜粋・掲載する。



はじめに

1. 調査の概要

◎調査時点

平成30年7月31日現在

◎調査の対象・方法

平成26年経済センサス－基礎調査結果に基づく名簿データから別に定めた基準によって層別抽出した都内3,500社に調査票を郵送し、自計式により記入・返送を依頼した。

また、平均賃金、実在者賃金算出のための労働者については、都内で働く常用労働者数に応じて別に定めた基準により、賃金台帳からの等間隔無作為抽出による記入を求めた。

◎調査対象企業の内訳

抽出企業及び集計企業の業種別・規模別の内訳

	区 分	調査産業計	製造業	印刷・関連業
従業者数 (人)	総 計	3,500	800	60
	10-29	640	—	—
	30-49	1,590	435	30
	50-99	850	185	15
	100-299	420	180	15
集計企業総計		1,060	297	24

2. 本調査の対象となる労働者

(1) 常用労働者の定義

調査対象企業において直接雇用される労働者のうち、嘱託・再雇用、臨時工、パートタイマー、病欠者、休職者を除く全従業員を指す。

本調査において、平均賃金・実在者賃金の算出に使用している個人調査票の記入対象は、常用労働者となっている。

(2) 常用労働者の分類

◎役付者

他の従業員に指揮命令をする地位にある者。目安として、係長又は同等以上の労働者をいう（役員は除くが一般労働者と同じ賃金規定の適用を受ける兼務役員を含む）。

◎役付者を除く常用労働者

①一般労働者（役付者以外の正社員）

②契約社員（正社員と同じ労働時間・日数であるが、有期契約など、正社員と異なる雇用形態で働いている者）

◎常用労働者以外の労働者

①パート・アルバイト正社員に比べて、労働時間又は労働日数が少ない者。

②嘱託・再雇用正社員としては一度退職し、正社員以外の形で再雇用されている者。

③その他の労働者臨時工、病欠者、休職者など、上記以外の者。

3. 本調査の調査項目について

(1) 定期昇給

毎年一定の時期を定めて賃金を増額する規定が就業規則などにあり、それに基づいて主として年齢の上昇に合わせて実施される昇給をいう。

(2) ベースアップ

業賃金表の改定等により、従業員の賃金水準を一律に引き上げることをいう。

(3) 平成30年7月1か月の賃金

平成30年6月の給与あ締切日の翌日から平成30年7月の給与締切日までの1か月間分として支払われた現金給与額をいい、税、社会保険料を控除する前の金額である。



具体的には、「定例給与」の範囲であり、臨時に支給した賃金や賞与は含まない。

なお、通勤手当については、6か月分などの一括支給の場合であっても、1か月分のみを算入している。

(4) 所定時間内賃金

就業規則や労働協約などで決まっている所定労働時間に対して支払われる賃金をいう。

(5) 所定時間外賃金

早出、残業、休日出勤など所定労働時間外の労働に対して支払われる賃金をいう。

(6) 平成29年年間給与支払額

平成29年1年間を継続勤務した労働者に支払われた年間給与支払額をいい、源泉徴収票の「支払金額」の欄と一致する。所定時間外賃金や賞与等も含まれるが、非課税である通勤手当は含まれない。

(7) モデル賃金

モデル賃金とは、学校を卒業してすぐに入社した者が普通の能力と成績で勤務した場合に、当該企業の賃金規定及び昇給事情のもとで、通勤手当を除く所定時間内賃金の固定部分が、勤続年数に応じてどのように上昇するかを算出したものをいう。本調査では、モデル条件に合致する者がいない場合には、賃金規定や給与表などによってモデル条件に最も近い者を参考に、モデル年齢の者がいると想定して回答を求めた。

4. その他・調査結果利用上の注意

回答を得た1,071社（回収率30.6%）のうち、11社を記入不備等のため除外し、1,060社（有効回収率30.3%）について集計を行った。

※本調査における実在者賃金とモデル賃金には通勤手当は含まれていない。従って、平均賃金との比較の際には通勤手当相当額を考慮する必要がある。

※集計数が4件以下のデータについては集計表中「x」としてあるが、この数値は合計データの中には含まれている。

※集計表中の「-」は、調査項目に該当しないか、あるいは集計数が得られなかったものである。

※年齢・勤続年数については、6か月未満は0年、6か月以上1年未満は1年とした。

※この調査結果における構成比百分率等は、四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

※集計人員数における「合計」について、各内訳を合計しても一致しない場合がある（「計」には当該項目の「無回答」の企業が含まれる場合があるため）。



賃金制度

◎賃金表・賃金規定の有無

賃金表がある企業は39.6%、賃金規定はあるが賃金表がない企業は50.0%、賃金規定がない企業は7.9%であった。

◎過去1年間の定期昇給の実施状況

定期昇給を実施した企業は74.1%、実施していない企業は24.4%であった。

◎過去1年間のベースアップの実施状況

ベースアップについては、「実施」が30.8%、「現状維持」が60.8%、「ベースダウン」が0.4%であった。

◎賞与

①賞与規定の有無をみると、「支給時期のみ定めている」は69.0%、「支給時期及び額を定めている」が8.9%で、合計77.9%の企業が賞与規定を定めていた。

②過去1年間（平成29年7月～30年6月）に賞与を支給した企業は84.0%。賞与の平均金額は、30年の夏季一時金が417,237円、29年の年末一時金が418,697円、その他賞与が77,514円で、合計913,448円。

③過去1年間（同上）に賞与を支給した企業の分布は、平均値は913,448円、中央値は751,704円であった。

◎役付手当

役付手当を支給する企業は69.0%。このうち「同一役職の支給額は同じ」は69.9%、「同一役職でも支給額は異なる」は26.5%であった。

「同一役職の支給額は同じ」企業の平均支給額は、部長80,121円、課長48,893円、係長24,181円であった。「同一役職でも支給額は異なる」企業の平均支給額は、部長128,424円、課長100,656円、係長53,709円であった。

◎住宅手当

住宅手当を支給する企業は40.4%であった。支給企業の54.7%は住宅の形態に関わりなく一律支給をしており、平均支給額は「扶養家族あり」の場合17,601円、「扶養家族なし」の場合14,963円であった。

また、支給企業の19.2%は住宅の形態別に支給しており、平均支給額は「扶養家族あり」の場合、賃貸25,352円、持家17,475円、「扶養家族なし」の場合、賃貸21,025円、持家13,865円であった。

◎家族手当

集計企業のうち、家族手当を支給する企業は51.2%であった。支給企業の87.7%は、扶養家族ごとに異なる額を支

給しており、平均支給額は配偶者10,733円、第一子5,624円、第二子5,242円、第三子5,349円であった。あった。

平均賃金

平成30年7月の全常用労働者（役付者を含む）の平均賃金は、所定時間内賃金が348,306円、所定時間外賃金が35,749円となり、合計で384,055円（平均年齢41.8歳、平均勤続年数10.7年）であった。労働組合の有無別にみると、労働組合の「あり」と回答した企業は「なし」と回答した企業に比べ、所定時間内賃金で16,621円（4.6%）高くなっている。また、企業規模別では規模が大きくなるにつれて所定時間内賃金、所定時間外賃金のいずれも高くなっている。

また、平成29年の全常用労働者の年間給与支払額（所定時間外賃金、賞与等を含む）の平均額は5,341,120円であった。

前回調査結果と比較すると、所定時間内賃金は3,651円（1.0%）減少し、所定時間外賃金は1,132円（3.3%）増加した。また、平成29年の年間給与支払額は平成28年より133,977円（2.4%）下回った。（※表1）

実在者賃金

年齢別に全常用労働者（役付者を含む）の平成30年7月1か月の所定時間内賃金をみると、男性は50～54歳

（444,962円）、女性は55～59歳（332,440円）でピークに達する。

所定時間内賃金の上昇率について22～24歳を100としてみると、男性はピーク時で201となっている。これに対し女性はピーク時で158となっており、男性に比べて緩やかな上昇となっている。また、平成30年の年間給与支払額の上昇傾向は、男女ともに55～59歳がピーク。

学歴別にみると、高校卒における所定時間内賃金のピークは、男性が394,080円、女性291,170円（男女ともに55～59歳）であった。大学卒においては男性が504,540円（50～54歳）、女性が379,136円（55～59歳）となっている。

また、平成29年の年間給与支払額は、男性のピークは高校卒が6,100,179円（55～59歳）、大学卒が7,827,924円（50～54歳）。これに対し、女性のピークは高校卒が4,399,378円（45～49歳）、大学卒が6,329,295円（50～54歳）。（※表2）

モデル賃金

モデル賃金（卒業後すぐに入社し、普通の能力と成績で勤務した場合の賃金水準）の年齢別の上昇傾向をみると、大学卒が55歳、その他の学歴において60歳でピークを迎え、ピーク時の所定時間内賃金は、高校卒396,464円、高専・短大卒402,338円、専門学校卒412,978円、大学卒は448,089円。（※表3-1,2）

表1 全常用労働者の平均賃金

	集計人員	平均年齢	平均勤続年数	平成 30 年 7 月 1 か月の平均賃金			平成 29 年 年間給与支払額
				所定時間内賃金		所定時間外賃金	
				所定時間内 (通勤手当含む)	うち通勤手当		
(単位)	人	歳	年	円	円	円	円
調査産業計	26,825	41.8	10.7	348,306	12,228	35,749	5,341,120
男性	18,617	43	11.6	369,644	12,003	40,155	5,709,070
女性	7,546	38.8	8.5	288,644	12,464	25,623	4,342,492
従業者 10-49 人	8,507	42.2	10.4	333,801	11,258	31,510	4,922,300
従業者 50-99 人	8,557	41.1	10.4	351,895	12,634	31,552	5,373,004
従業者 100-299 人	9,761	42.1	11.2	357,695	12,717	42,895	5,680,338
製造業	6,542	41.9	12.4	326,798	12,498	28,845	4,985,270
男性	4,823	42.9	13.4	348,099	12,729	32,640	5,348,259
女性	1,671	39.1	9.5	264,347	11,739	17,561	3,863,306
印刷・同関連業	1,016	41.2	11.5	315,587	13,810	33,073	4,612,541
男性	745	43	12.8	339,180	14,104	33,453	4,902,073
女性	271	36.3	8.1	250,727	13,004	32,028	3,705,778

(注) ①7月1か月の賃金とは、7月分の賃金として通貨で支給したもの（臨時に支給した賃金や賞与などは除く）で、税金、社会保険料等を差し引く前の金額である。
②年間給与支払額は、平成29年1年間を継続勤務した労働者について、源泉徴収票に基づいて集計したものであり、所定時間外賃金や賞与等も含んだ額である。

表2 実在者賃金（製造業）

学歴計										中学卒									
年齢区分	[男性]				[女性]					年齢区分	[男性]				[女性]				
	集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額	集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額			集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額	集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額	
(単位)	人	年	円	円	人	年	円	円		(単位)	人	年	円	円	人	年	円	円	
～17歳	—	—	—	—	—	—	—	—		～17歳	—	—	—	—	—	—	—	—	
18～19歳	26	0.5	184,983	2,043,100	34	0.4	179,578	2,027,986		18～19歳	—	—	—	—	—	—	—	—	
20～21歳	74	2.1	194,914	3,062,111	37	1.9	181,216	2,770,837		20～21歳	—	—	—	—	—	—	—	—	
22～24歳	177	2.4	214,741	3,209,107	129	1.9	201,171	2,934,410		22～24歳	—	—	—	—	—	—	—	—	
25～29歳	423	4.2	234,988	3,838,446	221	4.1	218,532	3,263,390		25～29歳	6	1.0	225,881	4,032,288	—	—	—	—	
30～34歳	497	7.2	266,403	4,392,479	187	5.9	233,052	3,475,002		30～34歳	3	x	x	x	2	x	x	x	
35～39歳	523	9.7	315,615	5,073,056	212	9.4	253,737	3,752,956		35～39歳	7	7.9	258,457	4,727,225	1	x	x	x	
40～44歳	728	13.5	334,050	5,409,115	241	11.5	268,464	4,125,200		40～44歳	13	15.1	290,918	5,126,477	7	8.6	211,759	3,356,796	
45～49歳	940	16.7	362,471	5,716,225	227	13.0	290,524	4,414,890		45～49歳	34	21.8	339,940	5,644,475	5	5.6	268,180	3,846,900	
50～54歳	654	18.2	409,069	6,356,260	189	15.8	283,346	4,402,047		50～54歳	21	17.3	332,641	5,233,867	—	—	—	—	
55～59歳	551	21.6	413,230	6,386,621	118	15.7	300,623	4,378,602		55～59歳	31	26.4	370,318	5,922,601	—	—	—	—	
60歳以上	202	20.4	372,874	5,477,604	38	16.1	227,885	3,307,059		60歳以上	17	34.0	276,574	3,875,600	2	x	x	x	

高校卒										高専・短大卒									
年齢区分	[男性]				[女性]					年齢区分	[男性]				[女性]				
	集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額	集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額			集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額	集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額	
(単位)	人	年	円	円	人	年	円	円		(単位)	人	年	円	円	人	年	円	円	
18～19歳	25	0.5	185,134	2,024,329	33	0.4	179,502	2,051,400		18～19歳	—	—	—	—	—	—	—	—	
20～21歳	70	2.2	194,013	3,062,111	28	2.2	184,811	2,840,296		20～21歳	—	—	—	—	—	—	—	—	
22～24歳	76	4.1	205,096	3,460,483	47	3.7	195,216	3,157,354		22～24歳	2	x	x	x	—	—	—	—	
25～29歳	122	6.7	218,315	3,700,056	34	7.1	211,676	3,334,353		25～29歳	18	3.7	222,543	3,672,840	6	4.5	211,417	3,423,250	
30～34歳	164	8.3	254,472	4,226,521	36	8.8	231,414	3,538,872		30～34歳	11	8.7	270,603	4,486,524	12	7.0	222,254	3,408,245	
35～39歳	171	11.8	296,656	4,727,692	60	13.1	242,270	3,605,725		35～39歳	9	14.1	297,489	5,124,938	19	12.7	257,148	3,536,981	
40～44歳	242	14.2	301,946	5,075,215	76	11.9	260,821	4,064,523		40～44歳	19	15.1	306,761	4,930,652	36	9.5	271,630	4,115,387	
45～49歳	365	18.8	336,899	5,435,821	100	14.3	286,050	4,392,286		45～49歳	26	10.5	327,181	5,034,436	25	8.2	263,909	3,909,274	
50～54歳	279	19.6	392,100	6,139,783	90	15.8	263,988	4,092,513		50～54歳	10	19.6	444,979	7,439,190	18	16.5	309,009	4,786,728	
55～59歳	220	25.7	391,571	6,161,051	54	17.5	279,475	4,030,496		55～59歳	11	25.0	395,280	6,684,273	23	17.7	298,226	4,632,455	
60歳以上	68	18.4	354,862	5,348,388	22	16.8	237,748	3,561,436		60歳以上	5	13.4	441,700	6,342,320	5	16.6	192,756	2,575,620	

専門学校卒										大学卒									
年齢区分	[男性]				[女性]					年齢区分	[男性]				[女性]				
	集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額	集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額			集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額	集計 人員数	平均 勤続 年数	7月の所定時 間内賃金	平成29年 年間給与 支払額	
(単位)	人	年	円	円	人	年	円	円		(単位)	人	年	円	円	人	年	円	円	
20～21歳	4	x	x	x	9	0.8	170,031	1,902,600		20～21歳	—	—	—	—	—	—	—	—	
22～24歳	19	2.3	216,890	3,226,724	15	1.2	183,291	2,281,833		22～24歳	77	0.9	222,731	2,622,972	65	0.7	209,778	2,779,974	
25～29歳	35	4.1	228,489	3,687,541	47	3.4	198,991	2,603,561		25～29歳	231	3.2	245,415	3,970,902	120	3.5	231,119	3,525,046	
30～34歳	51	6.7	255,131	4,167,940	54	5.0	219,375	3,344,374		30～34歳	243	6.6	275,163	4,556,378	77	5.5	247,687	3,606,886	
35～39歳	60	8.9	305,507	4,969,671	40	8.6	248,533	3,591,603		35～39歳	256	8.5	336,186	5,383,584	88	6.7	265,082	4,004,047	
40～44歳	123	13.7	336,288	5,229,960	60	12.0	268,558	4,203,807		40～44歳	278	12.9	369,594	5,903,057	52	12.1	287,514	4,406,083	
45～49歳	139	16.1	371,344	5,673,852	39	15.3	297,080	4,393,441		45～49歳	322	14.9	398,630	6,209,049	48	12.4	325,230	5,057,347	
50～54歳	71	22.8	411,821	6,117,464	41	17.5	309,964	4,775,015		50～54歳	243	15.3	437,880	6,851,935	25	12.6	308,826	4,931,061	
55～59歳	42	26.8	417,916	6,426,875	13	10.0	319,587	4,441,608		55～59歳	206	16.6	453,649	6,917,792	21	14.6	328,006	4,947,995	
60歳以上	8	22.0	279,667	4,065,675	1	x	x	x		60歳以上	81	20.1	421,088	6,151,086	—	—	—	—	

(注) ①この表の所定時間内賃金は通勤手当を含んでいない。従って、平均賃金との比較には注意を要する。
 ②年間給与支払額は、源泉徴収票に基づき集計したものであり、所定時間外賃金や賞与も含まれている。
 ③年間給与支払額については、1年間継続勤務をしていない労働者を母数から除外してある。
 ④学歴計は、学歴不明も含まれている。

表3-1 モデル賃金（産業別・企業規模別）

調査産業計															(単位:社、円)			
年 齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒					
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数		
18	0	520	181,146	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20	0	181	190,134	105.0	0	471	191,392	100.0	0	484	192,963	100.0	-	-	-	-		
22	0	177	202,529	111.8	0	159	202,947	106.0	0	166	203,772	105.6	0	642	206,877	100.0		
25	0	171	217,444	120.0	0	150	219,838	114.9	0	160	221,271	114.7	0	241	230,268	111.3		
30	2	171	252,798	139.6	2	142	253,744	132.6	2	150	256,361	132.9	2	228	270,195	130.6		
35	3	156	282,579	156.0	3	135	284,085	148.4	3	140	287,269	148.9	3	204	308,864	149.3		
40	3	158	313,746	173.2	3	137	315,354	164.8	3	140	319,142	165.4	3	208	350,999	169.7		
45	3	149	342,772	189.2	3	126	349,225	182.5	3	131	354,400	183.7	3	195	386,907	187.0		
50	3	151	369,107	203.8	3	129	377,802	197.4	3	133	386,020	200.0	3	199	425,328	205.6		
55	2	147	391,111	215.9	2	128	398,085	208.0	2	131	406,953	210.9	2	190	448,089	216.6		
60	1	150	396,464	218.9	1	129	402,338	210.2	1	133	412,978	214.0	1	182	442,507	213.9		

製造業															(単位:社、円)			
年 齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒					
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数		
18	0	181	175,648	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20	0	65	185,337	105.5	0	146	187,692	100.0	0	143	188,118	100.0	-	-	-	-		
22	0	60	195,190	111.1	0	49	200,661	106.9	0	46	196,750	104.6	0	186	204,678	100.0		
25	0	59	210,124	119.6	0	44	216,173	115.2	0	43	211,647	112.5	0	62	226,734	110.8		
30	2	60	244,543	139.2	2	43	249,853	133.1	2	43	246,577	131.1	2	58	265,074	129.5		
35	3	54	273,943	156.0	3	41	278,405	148.3	3	40	273,695	145.5	3	53	302,675	147.9		
40	3	54	305,865	174.2	3	42	314,302	167.5	3	42	308,548	164.0	3	56	342,059	167.1		
45	3	51	334,137	190.3	3	39	347,062	184.9	3	38	341,553	181.6	3	54	377,956	184.7		
50	3	53	357,809	203.7	3	40	380,928	203.0	3	39	375,546	199.6	3	54	413,370	202.0		
55	2	51	384,741	219.1	2	40	402,265	214.3	2	38	397,145	211.1	2	49	437,498	213.7		
60	1	52	398,854	227.1	1	41	422,924	225.3	1	41	419,778	223.1	1	50	452,416	221.0		

10～49人[合計]													(単位:社、円)			
年 齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒			
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数
18	0	287	183,935	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	0	88	194,944	106.0	0	273	193,156	100.0	0	286	194,550	100.0	-	-	-	-
22	0	85	207,059	112.6	0	82	205,379	106.3	0	89	207,226	106.5	0	348	207,966	100.0
25	0	84	222,806	121.1	0	78	222,577	115.2	0	88	225,684	116.0	0	118	230,796	111.0
30	2	85	257,339	139.9	2	73	256,711	132.9	2	79	261,849	134.6	2	113	270,968	130.3
35	3	75	290,620	158.0	3	67	287,757	149.0	3	72	293,846	151.0	3	100	305,910	147.1
40	3	78	322,129	175.1	3	72	317,847	164.6	3	76	324,793	166.9	3	104	343,109	165.0
45	3	72	355,217	193.1	3	62	353,429	183.0	3	68	360,175	185.1	3	96	381,016	183.2
50	3	74	379,066	206.1	3	65	382,311	197.9	3	70	393,559	202.3	3	99	415,895	200.0
55	2	71	400,545	217.8	2	64	398,713	206.4	2	68	410,276	210.9	2	95	434,940	209.1
60	1	73	411,519	223.7	1	65	408,317	211.4	1	69	420,188	216.0	1	91	441,174	212.1

50～99人[合計]															(単位:社、円)			
年 齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒					
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数		
18	0	144	180,859	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20	0	50	189,274	104.7	0	123	191,115	100.0	0	125	193,964	100.0	-	-	-	-		
22	0	49	201,996	111.7	0	42	201,692	105.0	0	43	202,263	104.3	0	179	205,667	100.0		
25	0	46	216,987	120.0	0	40	218,143	114.1	0	40	219,193	113.0	0	69	231,052	112.3		
30	2	47	257,177	142.2	2	39	254,708	133.3	2	40	255,243	131.6	2	66	272,353	132.4		
35	3	42	282,707	156.3	3	38	282,000	147.9	3	38	284,313	146.6	3	57	311,268	151.3		
40	3	44	308,880	170.8	3	37	310,643	162.5	3	37	313,897	161.8	3	60	355,562	172.9		
45	3	42	328,740	181.8	3	37	337,932	176.8	3	37	343,851	177.3	3	57	385,712	187.5		
50	3	42	352,740	195.0	3	37	362,814	189.8	3	37	368,976	190.2	3	57	423,616	206.0		
55	2	41	373,229	206.4	2	37	384,651	204.3	2	37	391,705	201.9	2	55	455,267	221.4		
60	1	43	380,865	210.6	1	38	392,776	205.5	1	39	401,351	206.9	1	54	441,491	214.7		

100～299人[合計]													(単位:社、円)			
年齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒			
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数
18	0	89	172,618	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	0	43	181,288	105.0	0	75	185,427	100.0	0	73	185,034	100.0	-	-	-	-
22	0	43	194,184	112.5	0	35	198,863	107.2	0	34	196,638	106.3	0	115	205,463	100.0
25	0	41	206,971	119.9	0	32	215,281	116.1	0	32	211,734	114.4	0	54	228,111	111.0
30	2	39	237,623	137.7	2	30	245,270	132.3	2	31	243,816	131.8	2	49	265,504	129.2
35	3	39	266,979	154.7	3	30	277,767	149.8	3	30	275,230	148.7	3	47	312,232	152.0
40	3	36	301,531	174.7	3	28	315,168	170.0	3	27	310,422	167.8	3	44	363,427	176.9
45	3	35	334,009	193.5	3	27	355,048	191.5	3	26	354,308	191.5	3	42	401,993	195.7
50	3	35	367,689	213.0	3	27	387,485	209.0	3	26	389,977	210.8	3	43	449,314	218.7
55	2	35	392,920	227.6	2	27	415,007	223.8	2	26	419,958	227.0	2	40	469,448	228.5
60	1	34	383,868	222.4	1	26	401,365	216.5	1	25	411,216	222.2	1	37	447,268	217.7

(注) この表の所定時間内賃金は通勤手当を含んでいない。従って、平均賃金との比較には注意を要する。

表3-2 モデル賃金（職種別）

全職種〔合計〕																(単位:社、円)			
年 齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒						
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数			
18	0	520	181,146	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
20	0	181	190,134	105.0	0	471	191,392	100.0	0	484	192,963	100.0	-	-	-	-			
22	0	177	202,529	111.8	0	159	202,947	106.0	0	166	203,772	105.6	0	642	206,877	100.0			
25	0	171	217,444	120.0	0	150	219,838	114.9	0	160	221,271	114.7	0	241	230,268	111.3			
30	2	171	252,798	139.6	2	142	253,744	132.6	2	150	256,361	132.9	2	228	270,195	130.6			
35	3	156	282,579	156.0	3	135	284,085	148.4	3	140	287,269	148.9	3	204	308,864	149.3			
40	3	158	313,746	173.2	3	137	315,354	164.8	3	140	319,142	165.4	3	208	350,999	169.7			
45	3	149	342,772	189.2	3	126	349,225	182.5	3	131	354,400	183.7	3	195	386,907	187.0			
50	3	151	369,107	203.8	3	129	377,802	197.4	3	133	386,020	200.0	3	199	425,328	205.6			
55	2	147	391,111	215.9	2	128	398,085	208.0	2	131	406,953	210.9	2	190	448,089	216.6			
60	1	150	396,464	218.9	1	129	402,338	210.2	1	133	412,978	214.0	1	182	442,507	213.9			

〔営業販売系〕																(単位:社、円)			
年 齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒						
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数			
18	0	287	180,139	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
20	0	100	190,218	105.6	0	263	190,831	100.0	0	260	191,840	100.0	-	-	-	-			
22	0	103	202,990	112.7	0	89	204,345	107.1	0	84	205,131	106.9	0	368	207,949	100.0			
25	0	99	217,340	120.7	0	85	221,176	115.9	0	84	221,823	115.6	0	143	232,272	111.7			
30	2	100	253,737	140.9	2	83	256,219	134.3	2	82	259,565	135.3	2	146	272,734	131.2			
35	3	92	284,570	158.0	3	79	286,920	150.4	3	77	291,312	151.9	3	131	313,974	151.0			
40	3	91	316,329	175.6	3	81	319,481	167.4	3	78	324,717	169.3	3	134	358,051	172.2			
45	3	86	348,345	193.4	3	72	355,301	186.2	3	70	361,546	188.5	3	124	397,869	191.3			
50	3	88	375,999	208.7	3	74	383,762	201.1	3	71	392,277	204.5	3	127	435,465	209.4			
55	2	81	398,655	221.3	2	72	407,482	213.5	2	69	417,210	217.5	2	122	465,646	223.9			
60	1	86	401,502	224.5	1	74	415,945	218.0	1	72	428,418	223.3	1	117	458,283	220.4			

〔事務系〕																(単位:社、円)			
年 齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒						
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数			
18	0	294	178,053	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
20	0	115	186,068	104.5	0	275	188,160	100.0	0	261	189,348	100.0	-	-	-	-			
22	0	111	197,886	111.1	0	103	199,540	106.0	0	98	200,515	105.9	0	357	204,191	100.0			
25	0	107	212,229	119.2	0	96	215,397	114.5	0	92	215,997	114.1	0	145	227,657	111.5			
30	2	106	250,141	140.5	2	93	253,133	134.5	2	88	255,023	134.7	2	140	268,705	131.6			
35	3	99	284,093	159.6	3	88	287,457	152.8	3	82	291,471	153.9	3	125	314,012	153.8			
40	3	101	317,224	178.2	3	90	323,396	171.9	3	84	327,061	172.7	3	125	358,898	175.8			
45	3	96	349,732	196.4	3	83	357,784	190.1	3	78	364,451	192.5	3	118	400,093	195.9			
50	3	96	378,424	212.5	3	85	386,867	205.6	3	80	397,324	209.8	3	120	436,693	213.9			
55	2	94	401,082	225.3	2	85	409,279	217.5	2	79	420,991	222.3	2	118	467,892	229.1			
60	1	97	407,023	228.6	1	86	413,209	219.6	1	81	426,086	225.0	1	112	459,090	224.8			

〔技術系〕																(単位:社、円)			
年 齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒						
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数			
18	0	174	181,339	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
20	0	74	191,369	105.5	0	162	193,373	100.0	0	181	195,172	100.0	-	-	-	-			
22	0	70	204,233	112.6	0	66	208,887	108.0	0	76	209,003	107.1	0	211	209,903	100.0			
25	0	65	220,695	121.7	0	61	226,411	117.1	0	71	226,430	116.0	0	92	232,438	110.7			
30	2	64	258,998	142.8	2	56	263,582	136.3	2	67	264,360	135.4	2	86	275,351	131.2			
35	3	58	291,771	160.9	3	53	295,985	153.1	3	62	297,224	152.3	3	78	317,646	151.3			
40	3	60	329,097	181.5	3	53	335,457	173.5	3	61	336,395	172.4	3	78	363,719	173.3			
45	3	57	361,868	199.6	3	49	375,296	194.1	3	57	377,509	193.4	3	72	403,215	192.1			
50	3	58	392,759	216.6	3	50	410,180	212.1	3	58	416,259	213.3	3	70	447,211	213.1			
55	2	57	419,584	231.4	2	50	431,166	223.0	2	57	437,391	224.1	2	68	470,491	224.1			
60	1	59	429,900	237.1	1	51	437,525	226.3	1	59	446,471	228.8	1	63	474,673	226.1			

〔生産系〕																(単位:社、円)			
年 齢	高校卒				高専・短大卒				専門学校卒				大学卒						
	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数	扶養 家族数	集計 企業数	所定時間内 賃金	上昇 係数			
18	0	162	180,390	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
20	0	57	189,012	104.8	0	126	191,039	100.0	0	128	191,509	100.0	-	-	-	-			
22	0	53	200,215	111.0	0	41	201,271	105.4	0	40	199,240	104.0	0	155	203,824	100.0			
25	0	52	213,942	118.6	0	37	215,043	112.6	0	37	213,481	111.5	0	47	222,540	109.2			
30	2	52	243,738	135.1	2	38	241,608	126.5	2	38	241,621	126.2	2	45	252,693	124.0			
35	3	48	269,033	149.1	3	37	264,381	138.4	3	36	265,236	138.5	3	42	282,967	138.8			
40	3	47	298,011	165.2	3	37	292,814	153.3	3	37	293,224	153.1	3	43	313,728	153.9			
45	3	45	325,361	180.4	3	33	319,667	167.3	3	34	322,529	168.4	3	42	350,124	171.8			
50	3	46	352,691	195.5	3	34	352,662	184.6	3	34	355,659	185.7	3	43	381,337	187.1			
55	2	44	369,707	204.9	2	33	375,142	196.4	2	33	377,230	197.0	2	39	404,600	198.5			
60	1	46	387,928	215.6	1	35	401,840	210.3	1	35	401,891	209.9	1	40	425,813	208.9			

(注) この表の所定時間内賃金は通勤手当を含んでいない。従って、平均賃金との比較には注意を要する。

多言語ユニバーサル情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス



Japan.
Endless
Discovery.

多言語に対応した デジタルブックを簡単に作成 手軽に配信・快適に閲覧

あらゆる紙媒体をデジタル化し、スマートフォンやタブレット端末に手軽に配信。
さまざまなシーンにおいて、時間・場所・言語にとらわれず、情報発信から閲覧環境
まで、ワンストップで最適な環境を提供いたします。

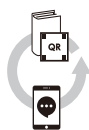
快適なユーザ体験をもたらす
多彩で豊富な機能を搭載



テキストウィンドウ
表示



自動音声合成
機能



SNS連携機能



ログ解析機能



配信エリア
指定



本文検索機能



高性能翻訳エンジン



モリサワ

www.morisawa.co.jp

詳しくは

エムシーカタログ



モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。●本仕様は、予告なく変更する場合があります。



営業のための道しるべ

新しいお客様との出会いを考える

(株)ビジネスコミュニケーション研究所 代表取締役 田中 信一



◆「新規開拓」6つのタイプと特徴

新規開拓は経営者にとっても、営業パーソンにとっても重要な仕事の一つである。今回から「新規開拓」について考えてみよう。まず見込み客との出会いについて、6つのタイプと特徴を整理してみる。

①飛び込み型

極端に言うと、特に周到な準備も経験も要らず、名刺と会社案内があれば、「すぐできる」「いつでもできる」「だれでもできる」メリットがある。

半面、「確率が低い」「効率が悪い」「継続が難しい」という問題はあるが、今でも多くの印刷会社の新規開拓手法である。

②紹介型

既存顧客や金融機関などからの紹介で、「初回面談の取り付けの手間は省ける（受付突破）」「とりあえず与信などは安心か？」というメリットがある。

半面、「（あなたが）期待する見込み客とは限らない」、とりあえず紹介だけに終わるか、発注可能性が高いかは「紹介者の力に依存する」、そして「（紹介者の手前）こちらから簡単に断りにくい」という問題がある。

③DM送付 & テレアポ型

名簿を入手し、DM（ダイレクトメール）を送付、その後電話で訪問伺いをするタイプ。電話後の訪問なので「初回面談の取り付けの手間は省ける（受付突破）」、われわれの都合で「業種・業界、地域など、自由に設定可能」「自社の得意な製品・サービスで商談しやすい」ことがメリットだ。

半面「組織的に見込み客リスト化やDM作成、テレアポ、訪問資料作成、トレーニングなどが必要」「何らかの差別性、売りが必要」という手間とそれなりのコストが発生する。

④セミナー開催型

何らかのテーマでセミナーや講演会（無料・有料）を開催し、見込み客を集客し、見込み客名簿を獲得し営業するタイプ。「共通のニーズや課題を持つ見込み客を顕在化できる」「ある程度は対等な立場で商談に臨める」メリットがある。

半面、「事前準備（セミナー企画、募集、開催など）にかなり手間とそれなりのコストがかかる」「営業個人では実践できないので、組織的に取り組む必要がある」という課題がある。

⑤展示会出展型

文字通り、数多く開催されるビジネスイベントに出展するので、「目的を持って来場する多数の見込み客の集客が期待できる」「自社の売り物を提示（展示）できる」メリットがある。

半面「出展費用、装飾費用、そして人件費などが発生する」「出展の前・中・後に組織的な対応が求められる」という課題がある。

⑥自社 Web サイト誘導（販売）型

印刷通販が代表的な例だが、「Web への問い合わせ時点で、取引関心度がある」「自社の売り物を数多く表示できる」「具体的な商談に入りやすい」メリットがある。

半面「検索されやすい施策（SEO/SEM）など Web マーケティング・ノウハウやスキルと Web 広告関連費用が必要」「問い合わせ対応、資料送付、訪問など組織的に取り組む必要がある」の課題がある。

以上のように、印刷会社の新規開拓は6つのタイプがあり、それぞれに一長一短がある。どのタイプを選択するかは各社の規模、業態（印刷会社の特性）、投資可能費用などにより変わってくるが、①と②が個人営業型で、③から⑥は組織営業型と言え、トレンドは組織営業型だろう。個人の営業スキルに依存する新規開拓は困難な時代である。

個人情報保護 緊急事態への対応

個人情報保護では、緊急事態いわゆる事故（漏えい、滅失、き損）が発生した際の対応が必要となる。国の個人情報保護委員会は、中小企業者向けに安全管理措置上の「規律の整備」の参考として「個人データ取扱要領（例）」を昨年12月に公表した。この個人データ取扱要領（例）においては、その一部として各社で定めておくべき緊急事態対策基準（例）が示されている。また、東京グラフィックスでは昨年、6月に策定した個人情報保護指針において、さらに昨年12月に発行した『印刷業界の個人情報保護ガイドブック（第6版）』においても緊急事態への対応を記している。参考とされたい。以下、個人情報保護委員会が示した基準（例）を東京グラフィックスが一部加工して掲載している。

上記参考 URL：https://www.ppc.go.jp/personal/chusho_support/

緊急時対策基準（例）（個人データ事故発生時）

1. 対象とする事案

- ①当社が保有する個人データ（特定個人情報に係るものを除く。）の漏えい、滅失又は毀損
- ② 当社が保有する加工方法等情報（個人情報の保護に関する法律施行規則（平成28年10月5日個人情報保護委員会規則第3号）第20条第1号に規定する加工方法等情報をいい、特定個人情報に係るものを除く。）の漏えい
- ③上記①又は②のおそれ

2. 事故発生時の対応

上記のような事案（事故）が発生した場合は、以下のよう
な観点を踏まえ、必要な対応を検討する。

- ①社内における報告及び被害の拡大防止：●○〔責任ある立場の者（例えば総務部長）〕に直ちに報告するとともに、漏えい等事案による被害が発覚時よりも拡大しないよう必要な対応を行う。
- ②事実関係の調査及び原因の究明：漏えい等事案の事実関係の調査及び原因の究明に必要な措置を講ずる。
- ③影響範囲の特定：上記②で把握した事実関係による影響の範囲を特定する。
- ④再発防止策の検討及び実施：上記②の結果を踏まえ、漏えい等事案の再発防止策を検討し、必要な対応を速やかに行う。

⑤影響を受ける可能性のある本人への連絡等：漏えい等事案の内容等に応じて、二次被害の防止、類似事案の発生防止等の観点から、事実関係等について、速やかに本人へ連絡し、又は本人が容易に知り得る状態に置く。

⑥事実関係及び再発防止策等の公表：漏えい等事案の内容等に応じて、二次被害の防止、類似事案の発生防止等の観点から、事実関係及び再発防止策等について、速やかに公表の可否を検討し、必要に応じて公表する。

3. 社外関係機関への報告

①報告先：

個人情報保護委員会

報告用 FAX：03-3507-4560／問合せ用 TEL：03-6457-9685

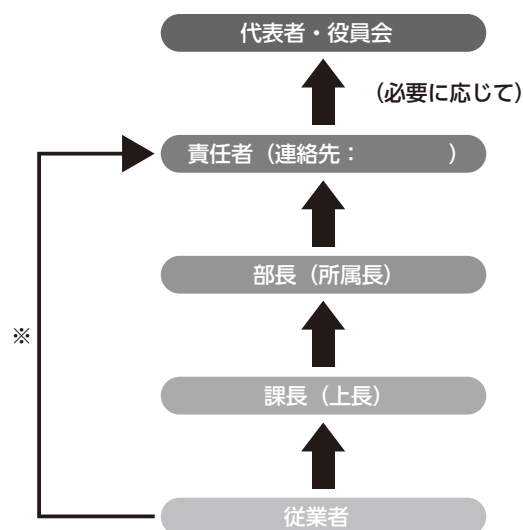
認定個人情報保護団体・（公社）東京グラフィックサービス

工業会 TEL：03-3667-3771

②報告方法

- （1）当該社内の状況を取りまとめた上で、責任者が①の報告先へ連絡を行う。
- （2）委託先が漏えいした場合は、責任者が委託先から必要事項を聴取の上、報告する。
- （3）必要に応じて責任者が①の報告先へ追加報告を行う。

4. 社内での報告体制



注意事項※ 課長及び責任者に同時に報告するなど、課長又は部長が不在等であっても、責任者への報告が遅れることがないよう、報告体制を整備する。
注意事項※ 原則として責任者までの報告を発生後翌営業日中までに行うなど、期限を決めておくのも有効である。

5. 社内報告体制及び報告先の見直し

報告体制及び報告先は、必要に応じ見直しを行うこととする。

※社内の組織体制に変更が合った場合等に報告体制等も見直す。

※個人情報保護委員会 HP「漏えい等の対応（個人情報）」において、報告先や対応の詳細等が掲載されている。

【参考 I】

（公社）東京グラフィックサービス工業会・個人情報保護指針から（平成30年6月16日改定）

（緊急事態への準備）

第10条 対象事業者は、緊急事態を特定するための手順、また、それらにどのように対応するかの手順を確立し、実施し、かつ、維持しなければならない。

対象事業者は、個人情報が漏えい、滅失又はき損をした場合に想定される二次被害の防止、類似事案の発生防止等に努める。経済的な不利益及び社会的な信用の失墜 本人への影響などのおそれを考慮し、その影響を最小限とするための手順を確立し、かつ、維持しなければならない。

1. 当該漏えい、滅失又はき損が発生した個人情報の内容を本人に速やかに通知し、又は本人が容易に知り得る状態に置くこと
2. 二次被害の防止、類似事案の発生回避などの観点から、可能な限り事実関係、発生原因及び対応策を遅滞なく公表すること
3. 当会に対して、次に掲げる報告内容について、速やかに（少なくとも3営業日以内。ただし、事故の内容によっては直ちに）行うこととする

報告内容は、事故の概要（発生日・発覚日含む）、事故対象者の個人情報の媒体、項目及び件数、事故に係る経緯、事故発生元、事故対象となった個人情報等の本人への対応等とする。

【参考 II】

印刷業界の個人情報保護ガイドブック第6版（ジャグラ／東京グラフィックス・平成30年12月13日発行）より

A.3.3.7 緊急事態への準備

印刷・グラフィックサービス工業者は、緊急事態を特定す

るための手順、及び、特定した緊急事態にどのように対応するかの手順を確立し、実施し、かつ、維持しなければならない。

印刷・グラフィックサービス工業者は、個人情報保護リスクを考慮し、その影響を最小限とするための手順を確立し、かつ、維持しなければならない。

また、印刷・グラフィックサービス工業者は、緊急事態が発生した場合に備え、次の事項を含む対応手順を確立し、かつ、維持しなければならない。

- a) 漏えい、滅失又はき損が発生した個人情報の内容を本人に速やかに通知するか、又は本人が容易に知り得る状態に置くこと。
- b) 二次被害の防止、類似事案の発生回避などの観点から、可能な限り事実関係、発生原因及び対応策を、遅滞なく公表すること。
- c) 事実関係、発生原因及び対応策を関係機関に直ちに報告すること。関係機関には次の機関などを含める。
 - 1) 委託元から取扱いを委託された個人情報に係る場合、委託元との契約等に従って委託元。この場合、緊急事態対応の内容について、本項の定めに基づいて委託元と協議する。
 - 2) 個人情報保護委員会、又は印刷・グラフィックサービス工業者が認定個人情報保護団体の対象事業者である場合、当該認定個人情報保護団体
 - 3) 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
 - 4) 犯罪によることが推定できる場合、管轄警察署

<解 説>

緊急事態への対応として、その手順を策定する。事項としては、①事故が起りやすい場面、②予想される被害の規模、③被害を最小限に抑えるための一次的な対処方法、④組織内外の緊急連絡網と報告の手順、⑤再発防止処置を実施する手順、⑥緊急時対応についての教育訓練があげられる。

最も大切な事は本人、顧客への連絡であり善後策は緊急事態によって異なるが、二次被害の防止等に即座に対応しなければならない。ジャグラ会員であれば事故の第一報をお知らせいただきたい。受託業務の事案であれば、最終的な責任がある委託元が個人情報保護委員会へ報告することとなる。ジャグラ東京地協会員は（公社東京グラフィックサービス工業会が認定個人情報保護団体である）

特定個人情報（マイナンバー）での事故であれば、ジャグラを通じて国の個人情報保護委員会へも報告することになる。

「エグゼクティブStyle」



第11回 クレーム対応

株式会社TFSマナー&EDUCATION 代表取締役 山本洋子

どんなビジネスであれ、自社のサービスや商品についてクレームを受けるのは耐え難いことです。特に自信を持って提供したサービスや商品がお客様に不評を買うということは、辛いだけでなく仕事を続けるモチベーションも下がってしまうのではないのでしょうか？

今回のテーマは「クレーム」についてです。

🌀 「食べ物の恨みは恐ろしい…」

飛行機には様々な人が搭乗します。ビジネスの出張、赴任、転勤、プライベートな旅行、祝い事や不幸で移動など、様々な事情を抱えて搭乗するお客様に、CAは平等に、公平にかつ満足していただけるような対応をしなければいけません。しかし、こちらが良かれと思って行ったことが、時にお客様の逆鱗に触れるということも多々あります。

長年フライトをしていると、複雑な状況の中でもクレームに「なる・ならない」の感覚が研ぎ澄まされ、無用なクレームを回避するすべを学ぶのですが、CAが一番てこずるクレームがあります。

それは、ミールチョイスがかなわなかった瞬間、すなわちお客様が希望する食事が食べられないときに起こるクレームです。「食べ物の恨みは恐ろしい」とはよく言ったものです。本当に恐ろしい状況に発展することがあるのです。

私が入社した1985年以降2～3年はエコノミークラスには食事のチョイスはなく、ビジネスクラスにおいても和食と洋食から選ぶくらいで食事のバリエーションがあまりない時代でした。機内食自体が珍しい食事でしたので、何をお出ししても喜ばれたと記憶しています。それ以降、各航空会社が

機内食に力を入れ始め、JALでもファーストクラスに寿司職人を搭乗させ機内でお寿司を握ったり、有名料亭や三ツ星レストランとコラボレーションをしたりして機内食の充実を図ってきました。現在でもファーストクラス、ビジネスクラスでは、機内で炊飯しています。炊き立てのご飯は、乾燥している機内ではとりわけ美味しいと大好評です。

そんなバラエティ豊かな機内食は、お客様にとって機内での大きな楽しみの一つでもあります。機内食だけが楽しみというお客様もたくさんいらっしゃいます。そんなお客様には、「お好みの食事を美味しく召し上がっていただきたい！」とは思いますが、搭載スペースと搭載数には限りがあります。宣伝文句が良ければよいほど、その食事に人氣が集中します。そうすると人氣のあるメニューは争奪戦なのです。

お客様にミールチョイスを伺う担当者は本当に頭を悩ませます。ミールチョイスを伺うのは、ファーストクラスにおいてはチーフパーサー、ビジネスクラスにおいてはインチャージと呼ばれる責任者です。ミールサービスにおいて、若手には任せない重要な業務として位置づけられるほどミールオーダーを伺うことは負荷のかかることなのです。私もチーフパーサーの頃、一番頭の痛い業務が実はこれでした。

どのクラスにおいても食事のチョイスを伺う順番は、常にVIPからです。VIPであれば、ビジネスクラスの最後尾に座りの場合でも食事のチョイスは最初に伺います。

ファーストクラスでは、全員がVIPです。その中でもポジションの高いVIPから食事のチョイスを伺っていくのですが、最後の方のお客様に希望の食事が残っているとは限りません。いつもハラハラドキドキしながら、祈るように食事の希望を伺っていました。「どうしよう、和食がもう残ってい

ない。お願いだからステーキにして！」と最後の方のお客様には毎回する思いで食事の希望を伺っているのです。

CAは食べ物の恨みは恐ろしいということを身をもって体験しています。希望がかなわないときのお客様の怒りは、人によっては収められないほど激しいものだからです。たかが機内食と思うかもしれませんが、かなりの確率でミールチョイスに関するクレームが起きているのです。

いくらお詫びしてもないものはどこからも出てきません。CAも誠心誠意謝るしかないのですが、私の25年のフライト人生の中で経験した一番大きなクレームに発展したのも、希望の食事をチョイスできなかったというクレームです。

今振り返っても、胃が痛くなるような思い出です。ニューヨークから日本に帰る便で希望の和食を召し上がれなかったビジネスクラスのお客様が、「和食以外だったらいらない！」と一切の食事を拒否、成田到着まで一切のサービスを拒絶し、成田に到着してからも地上係員に烈火のごとくクレームを浴びせかけたという、私史上、後にも先にもこれ以上のクレームはないというほど激しいクレームを受けたことがあります。

🌸 クレーム対応は「謝る」と「聴く」

接客業に長年従事していると、ある程度のクレームには臆さず対応できるようになります。当然こちらに非がある場合には真摯に謝罪しなければいけません。このケースのように度を越えたクレームに対して現場がどう対応するのか？ 初動対応によっては、火に油を注ぐことになりかねません。

クレーム対応の第一歩は、まずは謝る。これにつきます。理不尽なクレームや言いがかりと思われるようなクレームも確かにあります。しかしどのようなケースにおいても、お客様が不快な思いをしていることに違いはありません。まずは不快な思いをさせてしまったことに対して謝罪するのです。

お客様の言い分を伺うのは、そのあとです。この順番を間違えてしまうと取り返しがつかないことになりかねません。ただやみくもに謝るのではなく、まずは不快な思いにさせてしまったことへの謝罪、これが重要です。

謝罪の後は、ひたすらお客様の言い分を聴くことです。耳だけで「聞く」のではなく、耳と目と心で「聴く」姿勢が必要です。途中反論したいこと、弁解したいこと、説明したいことが次々に湧いてきます。そこをグッと我慢して、口を挟

まず全てを吐き出させるのです。

常識的な見識を持ったお客様であれば、この時点で9割がたは解決です。怒りを全て吐き出すと、自然と怒りは収まるものです。そして、感情に任せて怒りをあらわにしたことに対して申し訳ない、恥ずかしいという思いが湧いてくるのです。この時点で始めてこちらの状況を丁寧に説明し、要望に沿えなかったことを真摯に謝罪します。

この基本のクレーム対応、簡単なようで実は結構ハードルが高いのです。一切の口を挟まず、ひたすらお客様の言い分を全て吐き出させる。ここでつまづく人が多いのです。経験を重ねたベテランほど、陥りやすい盲点です。理不尽と思われるクレームであればあるほど、この対応は効果的です。

🌸 クレームは企業にとって「宝箱」

前述の大クレームを付けたお客様は、数ヵ月後に再度JAL便を利用されました。フライトの履歴から過去のトラブルに関しては、会社全体で共有し同じクレームにならないよう細心の注意を払うのですが、その便を担当したチーフパーサーの報告によると、そのお客様は終始とてご機嫌で飛行機を降りて行かれたとのこと。

手が付けられないほどのクレームを付けたお客様も対応次第ではファンになって戻ってきます。まさにピンチはチャンスなのです。クレームされない状況が一番ですが、クレームは企業にとっては宝箱。生かすも殺すも対応次第なのです。

会社の宝になるクレーム、恐れず大切に育ててみてはいかがでしょうか？

山本 洋子
(株)TFSマナー & EDUCATION
代表取締役



25年間大手航空会社にて勤務。チーフパーサーとして世界中のVIPを接客し、教官として1200名以上のCAを育成、サービスアドバイザーとして6000名のCAの指導を行う。その後外資系保険会社でFPとして営業に携わる。一流の接客マナーと営業経験に基づいた独自のメソッドで実践的かつ効果的な研修を行う。



医療法人社団 同友会 理事長

高谷典秀先生のなんでも健康相談 ⑦1

胃バリウム検査の注意点



バリウム検査後の便が出にくくて…

昨年バリウム検査を受けたときのことで、検査後、バリウムの便がなかなか出ませんでした。検査直後に下剤を飲み、医師の言うとおりに多めに水分をとったのですが、翌日になってもまだバリウムは出ず、次の日、ずっと横腹がひきつるように痛く、辛い思いをしました。

結局は無事に出たのですが、今年はもうそんな思いはしたくありません。バリウム便が出にくいのは体質なのでしょう。それとも、なにかコツがあるのでしょうか。



下剤と多めの水分を取ることにつきます

バリウムを使った胃部エックス線検査（レントゲン検査）の後に便がなかなか出なくて困ったという方からのご相談です。

バリウムは、エックス線を透過しないという性質から、胃などの消化管を撮影する際の造影剤として昔から使用されています。高い安全性を持った造影剤なので、長年がん検診などで使われていますが、固まりやすいという特徴もあり、人によってはバリウムを飲んだ後に少し不快な思いをする方もいるでしょう。バリウムがなかなか排泄されずに腸の中に長く留まると、腸閉塞を起こしたり、大腸炎や憩室炎といった大腸の炎症を引き起こすこともあるので注意が必要です。

通常は、下剤を飲んだり多めの水分をとることで、早めにバリウムを排泄することができますが、高齢の方の場合、もともと消化管の運動機能が低下しています。昨年そういった思いをされたのであれば、今年はより一層、便の排泄については注意を払う必要があります。

また、胃部エックス線検査でもう一つ注意しなければならぬのは誤嚥の問題です。バリウムを飲み込むときに、間違えて気管に入り、むせてしまう人がいます。通常は誤嚥をしても、すぐの場で咳などをしたりして、外へと排泄できればほとんど心配ありませんが、誤嚥の量が多いと、人によっては肺炎を起こすこともあります。

バリウム便を出すコツがあるかという質問ですが、しっかり下剤を飲むということと、多めの水分をとってバリウムを薄めていくことです。昨年よりも下剤の量を増やし、水分も、なるべく検査が終了して、すぐに飲むことが大切です。また、少し体を動かすことで、腸の動きも活発になることもあるので、ウォーキングをはじめするのも良いでしょう。

年齢とともに胃部エックス線検査の受診が難しくなるようなら、内視鏡検査に切り替えるのもひとつの選択肢です。最近の胃カメラは鼻から実施したり、細い内視鏡を使用したりすることで苦痛を低減できるようになっています。

バリウムが苦手な方は胃カメラを選択するのも選択肢のひとつなので、近くに内視鏡検査が行える施設があれば、受診してみるのも良いでしょう。



すぐに下剤と多めの水分を取りましょう



リフレッシュ・タイム



自宅でできる背筋トレーニング

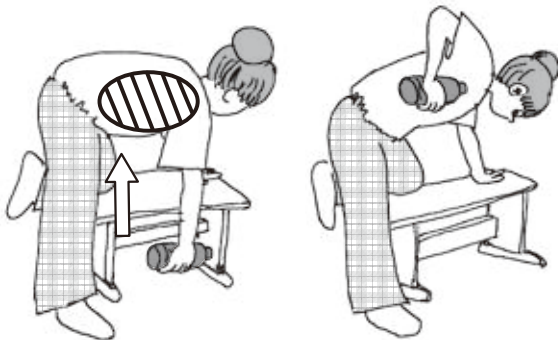
健康の維持・増進に大切だとされている筋力。今回は、自宅でできる背筋トレーニングを紹介します。

背筋は大きな筋肉の集まりで、腹筋と同様に姿勢の保持に大切な役割を果たします。背筋が低下すると、腰痛や肩こりの原因となる場合もあります。ゴルフ、テニス、野球など、スポーツでも背筋は大切です。筋肉量が減っている時にスポーツで無理をすると、損傷しやすい箇所でもあります。

今回紹介するトレーニングでは重い負荷をかけませんが、力んで無理をし過ぎないように気をつけて行いましょう。

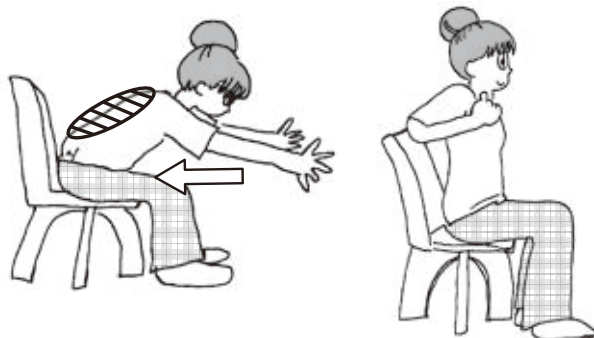
【ペットボトル・ワンハンド・ロウ】

- ① ペットボトルを持つ腕は自然に下げ、
反対側の手と膝は長椅子やベッドの上に置く。
- ② 息を吸いながらペットボトルを高く持ち上げる。
- ③ 息を吐きながらペットボトルを降ろす。
- ④ 左右10回ずつ行う。



【ボート漕ぎ】

- ① 上体、腕を前方に伸ばす。
- ② 息を吸いながら、ボートを漕ぐようにして腕を後ろに引く。
- ③ 10回行う。



 の部分を鍛えます。

あなたの健康管理、

私たちにお任せください

協会けんぽ、全国印刷工業健康保健組合ほか
各種健康保健組合様の健診も承ります。

— 東京グラフィックス工業会共済会会員様のお得な人間ドック —

	一般価格	会員価格
人間ドックAコース日帰り	53,000円＋税	39,500円＋税



経鼻内視鏡機器を揃えた
内視鏡センター



女性スタッフだけによる
レディース健診フロア



画像検査センター



再検査・精密検査
専門外来フロア



医療法人社団 **同友会**
春日クリニック

東京都文京区小石川1-12-16TGビル
TEL03(3816)5840 FAX03(3814)0004
<http://www.kasuga-clinic.com/>

人間ドック・健診とその後の健康管理を
高い医療技術と安心できる空間で
ご提供いたします。

【個人情報保護委員会】「認定個人情報保護団体セミナー」を開催

東京グラフィックス個人情報保護委員会では、JIS Q15001：2017が改正（平成29年12月20日）されたことを受け、ジャグラが昨年6月に個人情報保護ガイドライン第3版に改定されたことと安全管理面での留意点を詳細に説明するために、1月28日に日本印刷会館で「認定個人情報保護団体セミナー」を58名の参加を得て開催した（ジャグラと共催）。

冒頭、清水隆司副会長から、「昨年、ジャグラがガイドラインを改定しました。今後のプライバシーマーク対応のために規格の内容と特に安全管理面について今回のセミナーで十分に勉強をしてください」と挨拶を述べた。セミナーではガイドラインを改定の説明を東京グラフィックス・斎藤専務理事が行い、安全管理面については、（一社）日本印刷産業連合会・壇一雄氏が解説した。

セミナーでは、JIS Q15001：2017の構成とプライバシーマーク付与における新たな審査基準として新JIS 附属書 A をジャグラがガイドラインに反映させたこと。特に、2006年版に対し用語の変更と法改正に伴う「要配慮個人情報」「トレーサビリティの確保」「オプトアウト規制」「外国のに事業者への第三者提供」「個人データの消去の努力義務」「匿名加工情報」について、更に新JISでの要求事項を逐条解説した。

次に安全管理措置については、組織的、人的、物理的、技術的安全管理措置を新JISの附属書 C を含んだことによる変更・追加事項の説明を行った。

最後に東京グラフィックス・斎藤専務理事から、認定個人情報保護団体の役割と昨年9月に日本とEUが十分性認定で合意にいたったGDPR（一般データ保護規則）の内容と日本の企業が対応すべき注意点として、印刷会社がEU域内から個人情報の処理を受ける場合の説明をし、セミナーを終了した。

なお、この講演の内容は今後ジャグラ BB で放映の予定。



「認定個人情報保護団体セミナー」には58名が参加

【生産性向上団体向け生産性向上支援事業】第3回IoT/ICT活用セミナー開く

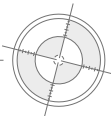
東京グラフィックスでは、東京都の団体向け生産性向上支援事業の指定を受け、11月から3回にわたりセミナーを実施した。3回目となる1月29日は「IT活用で伸ばす印刷ビジネス：事例で学ぶ生産性向上のポイント」と題し、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)佐々木健至部長を講師に実施した。



第3回IoT/ICT活用セミナーのようす

会場は富士ゼロックスの六本木キューブで参加者は20名。

セミナーは、笹岡担当副会長から、「11、12月と2回のセミナーを経て今回は富士ゼロックスの実機を使ったデモを交えて行う。今後の我々業界にとってIoT/ICTの活用は大きな経営課題となる。逼迫する人材不足への対応・働き方改革には、生産性向上は避けて通れない。今回のセミナーはFFGSさんと富士ゼロックスさんの協力でIT活用を実際の印刷ビジネスに活かすかを学ぶ趣旨、是非これからの経営の参考にされたい」とこのセミナーの意義を述べた。



内容は、まず印刷会社が直面している課題として、どう売り上げを伸ばし、原価を削減するかを取り上げ、提案型営業スタイルへの変革を考える。その方法は日々の業務を見える化し、不透明な仕事の流れを部分最適でなく全体最適を図る工夫をすること。つまり全社一丸となって効率化に取り組む“全員参加型経営”をめざす。そして、発注側の仕組みを変えてもらう努力を払う。在庫管理からサプライチェーンの管理の重要性と顧客の受発注の手間を減らす工夫、時間のかかる「校正」の合理的な仕組み（修正の見える化）さらにモバイル営業の環境作りや原価の見える化による効率化の促進と生産性アップを説明。そこには MIS（経営情報管理システム）の手法を用い、利益改善の具体例も示された。また、Production Cockpit という同社が進めているシステムの紹介もされた。

このように IoT/ICT の概要を説明した後、中小企業にとっての生産性向上をどのように考え、経営に活かすかの課題を解説した。

次に富士ゼロックスの実機を使ったデモとオンデマンド機によって作られた多彩なサンプルが紹介された。

【共済会】ボウリング大会に58名が参加

東京グラフィックス共済会（清水隆司代表幹事・綿貫勝夫幹事長）が毎年行っているボウリング大会が、今年も2月1日（金）、後楽園・東京ドームボウリング場で58名が参加して開催された。

当日は集合時間前から続々と集まり、常連さん、初参加の方、会社のボウリングチームでの参加の方々など、和気あいあいの大会となった。また女性の参加も多く15名が参加した。

大会は、6時30分からルール説明後、綿貫幹事長の始球式で始まり、各々2ゲームずつ行い、得点を争った。

結果は、佐藤久二男さん（㈱サンワ・千代田支部）が186P、195Pでトータル381Pで優勝。2位は斉藤弘さん（㈱三進社・港支部）、3位でハイゲーム賞は223Pで陳志雄さん（サンワ）となった。

ゲーム終了後は東京ドームホテル内のリラッサに場所を移し、野田晃司共済会監査役の乾杯の発声で懇親に入り、山下幹事、西



懇親会で記念撮影

岡幹事の進行で成績発表（優勝、2位、ハイゲーム賞、レディース賞、飛び賞、ブービー賞）と賞品授与、そして、懇親も深めた。ちばみにレディース賞は西岡佐記さん（㈱研美社・中央支部）、ブービー賞は大瀧将聖さん（大瀧印刷紙器㈱・文京支部）。

なお、次回からは今回優勝者にハンデキャップを付けることとした。

優勝した佐藤さんは、「優勝できて嬉しい。毎年参加しているので今日はがんばりました。しかし、来年はハンデがあるので厳しい。でも来年も頑張りたい」と優勝の弁。

呑み放題の宴席は、10時過ぎまで盛り上がり、締めは井上富美子常任幹事が行った。



綿貫幹事長（右）からトロフィーを受け取る佐藤久二男さん



クラウドファンディングの事例発表



定例会のようす

東京グラフィックス青年部 FACE（稲満信祐会長）は1月9日（水）午後6時30分から、ニッケイビルにおいて1月度の定例会を開催した。参加者はゲスト合わせ35人。

定例会では稲満会長あいさつの後、各種事業報告があった。前回定例会の11月から年末までに（12月は定例会無し）、スポーツイベントとして11月22日（木）に大井町きゅりあんでヨガ教室を開催した。講師は西畑亜美さん。参加者は15名。12月21日（金）には新宿神戸屋において忘年会を開催した。年内最後の青年部行事とあって30人以上が参加した。

関連団体事業として、印刷産業青年連絡協議会（原田大輔会長）は12月11日（火）に忘年会を開催した。印青連の忘年会は毎回100人近くのメンバーが集う大きなイベントになっている。印青連にはFACEからも役員を派遣しており、各委員会事業にはFACEとして積極的に運営協力、参加をしている。シナジー委員会では2月中にシナジーゼミナールを開催する予定。ほか今期から加盟している中小企業団体中央会青年部の活動状況の報告があった。同青年部は東京都内の印刷業や異業種青年部の集まりで月1回の定例会を軸に活動している。2月にはチャリティイベントを開催する。

ほかプライバシーマーク合同講座について告知があった。同講座は新JISに対応した規程作りのための講座で、すでにPマークを取得している更新企業向けと、ゼロベースで新たにPマーク取得を目指す新規企業向けの2種類を用意したもの。会員企業からの要望もあり2月から開講することになった。今春以降、要望があれば開講を検討する予定。

クラウドファンディング「MAKUAKE」

定例会後半では「クラウドファンディング（MAKUAKE）への試み～ノンブルノートN～」と題した勉強会を開いた。講師はFACEメンバーでもある菁文堂株式会社（文京）の谷山和也氏と市川貴弘氏。同社は手帳製本に特化した会社でこれまでも多様な手帳を世に送り出している。今回、新商品の開発にあたり初めてクラウドファンディングを利用した。数あるプラットフォームの中でMAKUAKEを選択し、目標50万円の設定のところ150万円以上が集まり、達成率は300%を超えたという。その資金を元手に簡条書きに最適なゴテックス装ノンブルノートNを商品化した。



菁文堂・谷山氏



ノンブルノートN

加入促進マニュアルで組織拡大に注力

東京グラフィックス（菅野潔会長）は1月30日（水）午後6時から本部ニッケイビルにおいて、平成30年度第5回理事会を開いた。

公益目的事業では、個人情報保護関連について1月28日にジャグラが発行した個人情報保護ガイドブックを用いたセミナーを印刷会館で開催した。

入退会では入会1社（株式会社ポスメディア）、退会1社（株式会社東美）が、賛助会員の入会1社（株式会社エスリー）が報告、承認された。本理事会現在で会員数は295社、賛助会員は36社となった。

1月21日に上野東天紅で開催された新春賀詞交歓会については来賓含め230人の参加があったことが報告された。

今期事業の進捗については、団体課題別人材力支援事業に関連する各種セミナーが1～2月にかけて開かれる。東京都の団体向け生産性向上支援事業の一環としてセミナーが昨年から1月にかけて開催された旨が報告された。

組織・広報委員会が主導して取り組んでいる加入促進については、委員会内で作成中の「加入促進マニュアル」を運用した組織拡大を目指している。同マニュアルは会員一人ひとりが、データベースに基づいたテレフォンアポイントによって新規入会に結びつけるためのツール。テレアポを実施するために必要な手順が記載されている。具体的にはアポイントリストの使い方、電話の掛け方、架電時後の対応等が説明され

ている。他に東京グラフィックスの事業内容や団体の歴史、ジャグラとの関係も含めた団体相関図が掲載されている。

○理事会議題

- ①公益目的事業：「個人情報保護」「環境・資源リサイクル」「文化の普及・啓発」「雇用・人材育成」
- ②入退会の承認
- ③新春賀詞交歓会
- ④平成30年度事業進捗・報告
 - ・団体課題別人材力支援事業
 - ・ビジコン2018（ファイナルプレゼン）
 - ・東京都団体向け生産力向上支援事業
 - ・加入促進マニュアルの運用
- ⑤2019年度事業計画・予算案の策定
- ⑥各種報告（委員会・共済会・支部・FACE・ジャグラ・日印産連）
- ⑦スケジュール確認
 - ・ジャグラ栃木大会
 - ・関東地協神奈川大会



あいさつする菅野会長



理事会のようす

競え、プロの技。 「ジャグラ作品展」応募受付中！

ジャグラ作品展は、グラフィックサービス工業の技術力向上や、
マーケットへのアピールを目的として開催するもので、
1966年、ジャグラの前身である日本軽印刷工業会が社団法人を設立した年より
開催されている歴史あるコンクールです。
皆様のご応募をお待ちしています。

■主催：一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
(主管・ジャグラコンクール委員会)

■応募資格・対象：

- ①ジャグラ正会員の作品であること
- ②2018年1月から2018年12月31日までに完成した作品
- ③下記の募集部門にあてはまる作品

■応募締切：平成31年3月末日

■各賞：経済産業大臣賞（計二点）、経済産業省商務情報政策局長賞（計二点）、厚生労働大臣賞（計二点）、厚生労働省人材開発統括官賞（計二点）、全国中小企業団体中央会会長賞（計四点）、日本印刷産業連合会会長賞、日本印刷技術協会会長賞、日本印刷機材協議会会長賞、日本プリンティングアカデミー学校長賞、ジャグラ会長賞ほか（以上、予定）

■募集部門

●出版印刷物部門

単行本、文芸書、教科書、学術参考書専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンドブック、自費出版、定期刊行物、復刻版など、いわゆる出版物と言われる印刷物

●宣伝印刷物部門

カタログ類、ポスター、ダイレクトメール、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR誌、各種案内書など、宣伝的要素の強い印刷物で、主としてカラー印刷物や凝った印刷物

●業務用印刷物部門

研究報告書、文集、記念誌、機関誌、便覧、手引書、名簿、会議資料、大会等資料、会報、年報、リスト、パーソナルユース（年賀状、レターヘッド、ハガキ、名刺など）など、斯業が主流としてきた印刷物。また商業印刷物のうち、モノクロ印刷物も含む

●開発開拓部門

新商品、新機器・新手法・新技法による作品、販促成功例、活路開拓・需要拡大商品、未来ビジネスへの足掛かり商品、

自社企画による印刷物、印刷物以外の商品、間接的に生産された印刷物、ソフト・サービス、CD-ROM等のマルチメディアなど、拡印刷を目指す技術・商品の開発・新技術の開発、営業要素が強い作品（全工程外注の作品）・サービスなど

■主な審査ポイント

- ・文字組版：文字揃え、欠け文字の有無、可読性、組版ルールなど
- ・図版：罫の処理、作図技術、貼り込みの曲がりなど
- ・写真：調子再現、濃淡、むら、トリミングなど
- ・色調：色むら、変・退色など
- ・デザイン：斬新性、造形性、調和、アイデア、配色など
- ・装丁製本：造本体裁、開き具合、製本仕上げなど
- ・印刷：刷りむら、用紙の適否、インキ発色、見当性など
- ・レイアウト：読みやすさ、版面の適否、図版と文字の配置、全体の調和など
- ・オンデマンド：デジタル処理特性
- ・開発開拓：アイデア性、新技法、オリジナル性、需要拡大性、新市場開拓、拡軽印刷
- ・インクジェット：インクジェット適性

■審査員：経済産業省、厚生労働省、全国中小企業団体中央会、日本印刷産業連合会、日本印刷技術協会、日本印刷機材協議会、日本プリンティングアカデミー、業界紙各社、学識経験者、ジャグラコンクール委員長（以上、予定）

■審査発表・表彰式・作品展示

- ・入賞作品は4月中旬の最終審査会で決定し、ジャグラ機関誌「グラフィックサービス」で発表します。
- ・表彰式および入賞作品展示は、第61回ジャグラ文化典拠木大会（6月8日）にて行います。

■詳細お問い合わせ・応募用紙の請求先

ジャグラ事務局作品展係（TEL.03-3667-2271）
<https://www.jagra.or.jp/2018/11/22/4769/>

12月3日

●第6回四役会

16:00 ~ ニッケイビル

議題／①スケジュール等確認②今年度事業の報告・進捗③新春賀詞交歓会④次年度事業計画・予算案の作り方⑤賃金規定について、他
出席／菅野、笹岡、清水、中村(盟)、鈴木(将)、斎藤[鈴木]

12月5日

■プライバシーマーク審査会

15:00 ~ ニッケイビル

内容／付与・更新審査
出席／清水[吉野、渡部、斎藤]

12月7日

●団体課題別人材力支援事業研修会

16:30 ~ マンパワーグループ浜松町

内容／ビジネスモデルセミナー「新規事業の実際」

12月11日

●団体課題別人材力支援事業研修会

16:30 ~ マンパワーグループ神保町

内容／就業規則作成&改定セミナー①

12月17日

●団体向け生産性向上支援研修会②

18:00 ~ ニッケイビル

内容／IoT/ICT 研修・応用編(講師: 神谷俊彦氏)
参加／37人

☆JIPDEC 審査機関連絡会

15:00 ~ JIPDEC

出席／斎藤

12月18日

●機関誌制作委託先選定入札説明会

15:00 ~ ニッケイビル

内容／機関誌の制作条件・入札条件
参加／5社 [吉野、鈴木]

12月19日

●団体課題別人材力支援事業研修会

16:30 ~ マンパワーグループ浜松町

内容／経営者・管理者、リーダーに求められる自己変革の姿勢～坂本龍馬に学ぶ人間の資質と自己変革

12月20日

◎プライバシーマーク現地審査

壮光社印刷 [吉野、斎藤]

12月21日

★青年部 FACE 忘年会

12月28日

●事務局仕事納め

※各支部忘年会は1月号に一括掲載

東 グラ 伝 言 板

入 会 退 会

(平成31年1月～2月分)

●入 会●

◆今野印刷(株)(港)

代表者: 橋浦隆一

〒108-0022 港区海岸3-25-8 (株)文洋社ビル内

TEL: 03-3769-2711 FAX: 03-3769-2715

●退 会●

(株)東美(中央)

変 更 異 動

(平成31年1月～2月分)

◆(株)日本文書(千代田)

所在地変更: 〒162-0042 新宿区早稲田町75 日研ビル

TEL: 03-6233-8933 FAX: 03-6233-8936

◆(株)エンゼル(中央)

所在地変更: 〒104-0033 中央区新川2-2-1-812

TEL: 03-6222-9585 FAX: 03-6222-9584

◆(株)まこと印刷(港)

所在地変更: 〒106-0044 港区東麻布2-32-8 1F

TEL: 03-6230-9590 FAX: 03-6230-9593

◆(株)鈴鹿システックス(港)

代表者変更: 武田春夫

◆(株)プリコ(城東)

所在地ビル名変更: ヒューリック葛西臨海

◆ニッポー印刷(株)東京・葛飾営業所(城西)

所在地変更: 〒125-0042 葛飾区金町6-13-1 長塚ビル306号

TEL: 090-6438-0600

◆キャノンプロダクションプリンティングシステムズ(株)(賛助)

担当組織変更: キャノンシステムアンドサポート(株)

代表者: 平賀 剛/担当者: 吉岡康之

担当部署: 東京プロダクションプリンティング営業部

〒101-0041 千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館14F

TEL: 03-6757-2650 FAX: 03-6759-5511

◆(株)モリサワ(賛助)

担当部署・担当者変更: プリンティング事業部東京営業部
営業二課課長代理・長谷川英樹

●支部異動●

◆プリントネット(株)(港支部→千代田支部)

表紙の絵



板谷廣長「源義経図」

(板谷廣當・廣長「源義経・義家図」のうち)

板橋区立美術館蔵

※本作品は現在展示されていません。

◇ 板橋区立美術館のご案内 ◇

〒175-0092 東京都板橋区赤塚5-34-27

<http://www.itabashiartmuseum.jp/>

TEL.03-3979-3251 FAX.03-3979-3252

【お知らせ】

当館は、2019年6月頃まで改修工事のため休館します。

東グラ

月刊 東京グラフィックス

2019年2月号

Vol. 57 No. 708

■発行日 平成31年2月15日

■発行人 清水 隆司

■編集人 中村 盟

■発行所 東京グラフィックサービス工業会共済会

<http://www.tokyographics.or.jp>

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16

TEL.03-3667-3771 FAX.03-3249-0377

■年間購読料 12,960円 (税・送料込み)

■印刷・製本 株文栄社 (中央支部)

- ・組版ソフト：InDesign cs6, Illustrator cs6
- ・RIP (表紙)：Kodak トレンドセッター400
- ・RIP (本文)：SCREEN EQUIOS Ver.4.50 EQ019 EQ1
SCREEN Trueflow SE Ver7.30 TF359
- ・CTPセッター (表紙)：Trendsetter400 II QuantumAL
- ・CTPセッター (本文)：PT-R8900S
- ・CTP版 (表紙)：FUJIFILM XP-F 19-03 633525
- ・CTP版 (本文)：FUJIFILM XP-F 19-01 631943
- ・印刷機 (表紙)：RMGT7 790
- ・印刷機 (本文)：SpeedMaster SMK2-2P
- ・用紙 (表紙)：ブライトン菊判62.5kg
- ・用紙 (本文)：b7バルキーA判38.5kg
- ・インキ (表紙)：女神インキ工業株式会社
- ・インキ (本文)：DICグラフィックス株式会社

【本誌の無断転載を禁ず】

第22回 日本自費出版文化賞 作品募集

「日本自費出版文化賞」は、インターネット「自費出版ホームページ」による自費出版データの蓄積・公開活動と連動しながら、自費出版に光を当て、著者の功績を讃え、かつ自費出版に再評価、活性化を促進しようとするものです。

応募締切
3月31日

■応募資格

制作費用の全額または一部を著者（個人・団体）が負担し、日本国内で2010年以降に出版され、主として日本語で書かれた一般書で、製本された著書が対象。著者の国籍は問いません。

※一般書とは、一般の人が理解できる内容の書籍を指し、特定の専門的な内容の著書については審査できないことがあります。

※カルタや屏風・巻物など書籍以外のものは含まれません。

■募集部門

①地域文化部門、②個人誌部門、③小説部門、④エッセー部門、⑤詩歌部門、⑥研究・評論部門、⑦グラフィック部門

■賞

【大賞】賞状・賞金20万円（1点）／【部門賞】賞状・賞金5万円（各部門1点）／

【特別賞（協賛各社賞）】賞状・記念品（各部門1点）／【入選】賞状（各部門10点程度）

■選考委員

鎌田慧（選考委員長・ルポライター）／中山千夏（作家）／秋林哲也（編集者）／

佐藤和夫（哲学思想研究者）／藤野健一（編集者）／小池一子（クリエイティブ・ディレクター）／

成田龍一（日本女子大学教授・歴史家）

■主催

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

■主管

NPO法人日本自費出版ネットワーク

詳細はコチラ
<https://www.jsjapan.net/>



印刷とDTPに精通したモトヤの強み

社会保険料・福利厚生費など固定費が不要な
貴社が必要とする印刷とDTPのプロフェッショナルを
必要なとき、必要な期間だけ派遣します。
求人・採用の手間も不要です。
お気軽にお問い合わせください。

MOTOYA

人材
派遣

導入実績100社以上！

今こそ、情報の見える化(MIS)を！

経営者に必要な利益管理の仕組創りをお手伝い

営業情報を正確に早く

制作・製造部門に伝えます。

生産性向上、ミス・ロス低減で利益向上

印刷業向け業務パッケージの決定版



見積／受注・制作・印刷・配送予定／加工
在庫／発注仕入／販売／原価システム
(ピーマン)

P-MAN Business e-Brain
PRINT MANAGER

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 般 27-030254／紹介事業許可番号 27-コ-030174

印刷のソリューションプロバイダー

株式会社 モトヤ

<http://www.motoya.co.jp/>

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)

大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 ☎(06)6261-1931(代)

横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

To the Next.

印刷の「近未来」が、カタチになる。

印刷には、大きな可能性がある。技術やアイデアによって、自在に進化していく力がある。
そんな印刷の力を、もっともっと引き出すために、FFGSは絶えず挑戦を続けます。最新の取り組みの一つが、
「スマートファクトリー構想」を具現化していくこと。新たな価値、新たなビジネスの創出を可能にする、
製造工程のイノベーションです。“印刷の近未来像”を、いち早く現実のものに。
私たちはこれからも、時代の先を見据え、お客さまと共に、印刷の革新に取り組んでまいります。

共に創る。共に拡げる。